

NVR



NVR ファミリー

[NVR-516,508,504]

操作説明書

作成：2014/12/09



NVR

改訂履歷

2012/06/08	初版作成
2013/02/15	修正 1 版
2013/03/07	修正 2 版
2013/06/26	修正 2.1 版
2014/05/01	修正 2.2 版
2014/07/08	修正 3 版
2014/10/28	修正 3.1 版
2014/12/09	修正 3.2 版
2015/06/24	修正 3.3 版

目次

はじめに	7
[保証の制限]	7
[注意]	8
本製品のセットアップ	10
1-1 本製品の起動	10
1-2 本製品の停止	10
1-3 正面パネルの内容	11
1-4 本製品管理画面へのアクセス手順	12
1-5 本製品の検出	12
A 操作編	14
1. ライブ映像の閲覧	14
1-1 ライブ映像の閲覧方法	14
1-1-1. ライブ映像の閲覧	14
1-1-2. ライブビデオコントロール	15
1-2 シーケンス（一定の間隔・順序で画面を切り替えて表示させる機能）	16
1-3 PTZ 操作	17
1-4 PTZ プリセット位置表示・オートパン	18
1-4-1. プリセット位置映像の表示	18
1-4-2. オートパン映像の表示	18
1-4-3. PTZ ツアー	18
1-5 マップモニター	19
1-5-1. ローカルマップモニター	19
1-5-2. Google マップモニター	20
1-6 カメラステータス	21
2. 録画再生	22
2-1 所定の時間で再生	22
2-2 タイムチャート再生	22
2-3 特定時間で再生	23
2-4 イベントによる再生	24
2-5 最新のイベントによる再生	24
2-6 録画再生コントロールパネル	25
2-7 AVI 出力	25
B 設定編	27

1. システム設定	27
1-1 管理画面の表示	27
1-2 言語の切り替え	27
1-3 設定画面	29
1-4 ネットワークの設定	30
1-5 DDNS サービスの設定	31
1-6 日時の設定	32
1-7 ユーザアカウントの設定	34
1-8 ユーザアカウントの編集・削除	35
1-9 グループ権限の設定	36
1-10 ディスク設定	38
2. カメラの登録	39
2-1 カメラの登録手順	39
2-1-1 カメラの登録	39
2-1-2 マルチストリーム	41
2-1-3 カメラの編集・削除	43
2-2 OSD(オンスクリーン表示)	44
3. PTZ 設定	45
3-1 PTZ プリセット	45
3-1-1 手動登録	45
3-1-2 設定変更	45
3-1-3 登録の削除	45
3-1-4 「カメラと同期」による登録	45
3-2 PTZ ツアー	47
4. E-マップモニター	48
4-1 E-マップモニター[ローカルマップ]の設定	48
4-1-1 マップ画像の変更	48
4-1-2 カメラアイコン	48
4-2 E-マップモニター[Google Map]の設定	50
4-2-1 カメラ設置場所の地図検索	50
5. イベント構成	51
5-1 一般設定	51
5-1-1 イベントトリガー有効時間	51
5-1-2 イベントトリガー間隔	51
5-1-3 トリガーアクション	51
5-2 イベント構成 I/O 設定	53

NVR

5-3 イベントサーバー	55
5-3-1 FTP サーバ	55
5-3-2 SMTP サーバ	56
5-4 イベントトリガー	58
5-4-1 カメラトリガー発生要因 (①)	58
5-4-2 NVR トリガー発生要因 (②)	58
5-4-3 トリガーアクション (③)	58
6. 録画設定	61
6-1 一般設定	61
6-1-1 録画バッファ (①)	62
6-1-2 録画フレームレート (②)	62
6-1-3 画像保存制限 (③)	62
6-1-4 カメラ録画設定 (④)	62
6-1-5 録音 (⑤)	63
6-2 スケジュール録画設定	63
7 システムオプション	65
7-1 機器情報	65
7-2 システムログ	65
7-2-1 システムログ閲覧	66
7-2-2 システムログのエクスポート	66
7-3 メンテナンス	67
7-3-1 NVR 再起動	67
7-3-2 NVR 自動再起動	67
7-3-3 カメラの再起動	67
7-3-4 NVR ファームウェアのアップグレード	67
7-3-5 NVR の設定ファイルをバックアップ	67
7-3-6 NVR の修復	67
7-3-7 工場出荷時の状態にリセット	68
7-3-8 NVR のウェブ UI のロゴを変更	68
7-4 DO ポート状態	70
7-5 ディスクステータス	71
7-6 USB 接続バックアップ	72
7-7 NVR Media Player の使用方法	73
7-8 UPS 設定	75
付録	76
I/O ポートと RS485	76

NVR

製品仕様	76
Axis241Q ビデオサーバのイベント録画手順	77
スマートフォンによる閲覧	80
NVRMobileViewer の使用方法	82
32GB 以上の USB 接続ストレージのフォーマット方法	87
Windows 7 の場合	87
Windows XP の場合	91

はじめに

本製品をご購入いただき、ありがとうございます。本ユーザマニュアルでは、本製品の取り扱い、並びに使用方法を説明します。

- (1) 本書に記載されているすべての機能、仕様、特長その他は予告なしに変更されることがあります。
- (2) 記載されているすべてのブランド名および製品名は各社の登録商標です。
- (3) 説明書内の画面イメージが実際と違う部分があります。基本機能は変わりませんのでご了承ください。

[保証の制限]

- (1) いかなる場合も、株式会社システム・ケイ（以下弊社）は直接、間接を問わず製品に対して支払われた価格を超えて責任を負うことはありません。
- (2) 弊社は本製品及び付随するすべてのソフトウェア及びドキュメントの内容や使用に関して明示的または黙示的または法的に保証するものではなく、またその品質、性能、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- (3) 弊社は本製品の顧客へ事前の予告なしに製品、ソフトウェアまたはマニュアルを、改訂または更新する権利を留保します。
- (4) **本マニュアルの記載を守らないことにより生じた損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。**また予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更・修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。
- (5) 弊社は製品及びソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害及び間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。
- (6) 弊社はこのマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また黙示的な保証を一切致しません。

[注意]

- (1) データの毀損を回避するために、定期的なシステムのバックアップを強く推奨します。弊社はいかなる種類の、データの毀損に関して責任を負いません。
本製品の修理のために返品する場合、電子機器の郵送として不適切な梱包による損傷は保証対象外となります。
- (2) [安全に関する警告]
 - ① 本製品の動作温度、相対湿度を守ってください。
 - ② 本製品には正しい供給電圧（AC100～200V）を提供する必要があります。
 - ③ 本製品を直射日光にさらしたり、化学物質・液体の傍に設置したりしないでください。
本製品を清掃する場合は、電源コードと接続されているすべてのケーブルを抜いてください。
 - ④ 化学薬品やエアゾールで本製品をクリーニングしないでください。
 - ⑤ 本製品の上に物を置かないでください。
 - ⑥ ハードディスクを取り付ける際は、本書に基づき本体ハードディスク・スロットにしっかり留めてください。
 - ⑦ ハードディスクは停電など、突然電源を断たれると故障する可能性がありますので、**UPS（無停電電源装置）の使用を推奨いたします。**
 - ⑧ 本製品を不安定な物の上に設置しないでください。落下した場合本体を毀損する場合があります。
 - ⑨ 本製品を使用する場合、電圧が正しいことを確認してください。不明な場合は、管轄の電力会社にお問い合わせください。
 - ⑩ 本製品電源コードの上に物を置かないでください。断線の原因となります。
 - ⑪ いかなる場合でも、本製品を自分で修理することはおやめください。製品を不適切に分解すると、感電その他の危険にさらされます。また製品保証の対象外となります。

NVR

本製品と付属品一覧

- ・ 本製品（NVR ファミリーはタイプ毎にパネルのロゴのカラーが異なります）



（※画像は NVR-504 です）

- ・ イーサネットケーブル



- ・ AC 電源コード



- ・ CD-ROM



添付ソフト&マニュアル

- ・ Adobe Acrobat Reader
 - ・ クイックインストールガイド
 - ・ ユーザマニュアル、その他資料
 - ・ 統合管理ソフトウェア
 - ・ NVR サーチ（検出）ソフトウェア
-
- ・ トラブルシューティング
 - ・ NVR かんたん操作ガイド
 - ・ 保証書

本製品のセットアップ

1-1 本製品の起動

- (1) AC 電源コードを本体背面の AC ポート①に接続します。電源の LED②の表示が赤色に変わります。
- (2) 本製品の背面パネルの LAN ポート③にイーサネットケーブルを差込み、ネットワークに接続します。
- (3) ネットワークに接続した後、本製品前面パネルの電源ボタン④を 1 秒程度押して電源を入れます。電源の LED 表示が赤色から橙色の点滅に変わり、30 秒ほど経過するとブザー音が鳴り、電源の LED 表示が緑色に変わり、本製品のシステムが起動します。



背面パネル



前面パネル

1-2 本製品の停止

- (1) NVR が動作中の状態より、本製品前面パネルの電源ボタン④を 2 秒程度押します。電源の LED 表示が緑色から橙色の点滅に変わり、30 秒ほど経過すると電源の LED 表示が赤色に変わり、システムが停止します。
- ※ 停電等で本製品が停止した後に電源復旧した場合は、自動で再起動します。
 - ※ 1-2 の本製品の停止の手順で停止した場合は、1-1 本製品の起動(3)の手順にて起動する必要があります。

1-3 正面パネルの内容

本体前面の LED はハードウェアの動作状態を表示します。

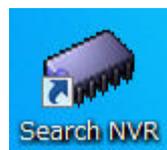
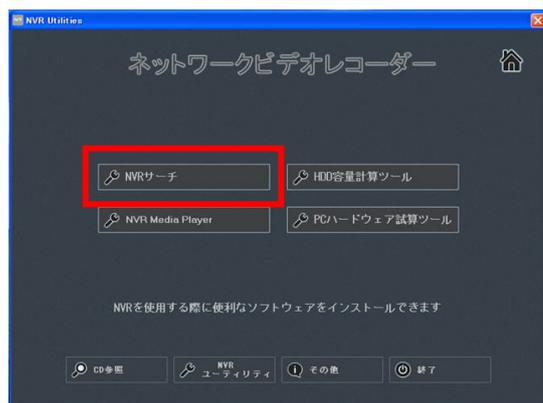


項目	LED 表示	作動状態/用途
①カメラステータス 最大 16 チャンネル	緑色	ライブ表示中(録画なし)
	赤色	接続されているが未動作、未接続
	橙色 点滅	手動又はイベント録画中
	橙色	スケジュールまたは連続録画中
②電源	緑色	正常動作中
	赤色	システム オフ(電源コード接続中)
	橙色 点滅	起動中/停止中等 システム動作中
③システムステータス	橙色 点滅	ファームウェア更新中
	緑色	正常動作中
	緑色 点滅	ファームウェア更新中完了時に点滅、その後正常動作表示
	赤色 瞬間的に光る(閃光)	ファームウェアの更新に失敗したとき
④ネットワーク	橙色	1Gbps で動作中
	緑色	10/100Mbps で動作中
⑤ハードディスク 1/ ⑥ハードディスク 2	緑色	正常動作中
	赤色	ディスクエラー
	橙色 点灯	録画中
	橙色 点滅	古いデータの削除中
⑦アラーム	赤色 点滅	アラーム発生中
	消灯	アラーム未発生
⑧リセットボタン	—	装置リセット ※5 秒以上押すと設定値が初期化されます。
⑨電源ボタン	—	電源の ON/OFF 用(ON時 1 秒程度/OFF 時 2 秒程度押下)
⑩ブザーボタン	—	イベント等でブザー音が鳴った時に押下して停止させる
⑪⑫USB ポート	—	—

NVR

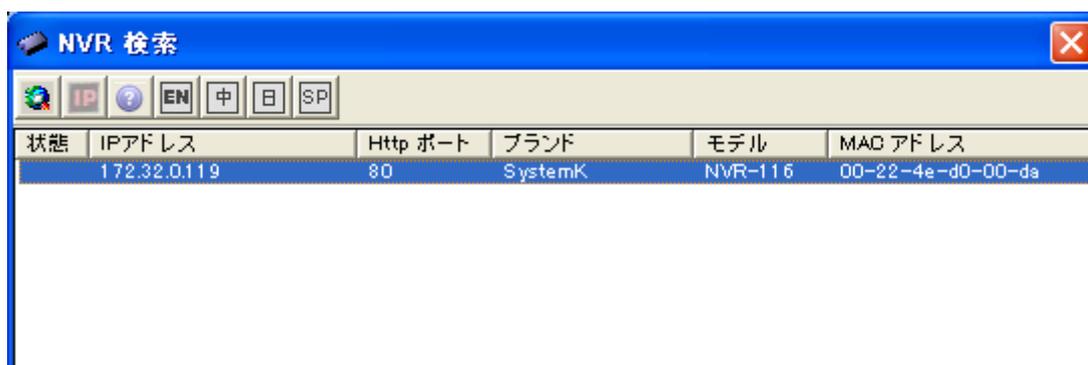
1-4 本製品管理画面へのアクセス手順

- (1) 製品添付の CD-ROM をネットワークに接続している PC の CD ドライブに挿入します。
- (2) 自動で下記の画面が表示されます。
- (3) 下記画面メニューから「NVR サーチ」をクリックして、「Search NVR」をインストールします。
- (4) デスクトップ上の Search NVR のアイコンをダブルクリックし、本製品を検出します。



1-5 本製品の検出

- (1) 本製品が検出されると下の画面に本製品の IP アドレスが表示されます。
- (2) 表示されたアドレスをクリックし本製品管理画面にアクセスします。
- (3) DHCP サーバのあるネットワーク環境に本製品を接続した場合、DHCP サーバより自動で付与された IP アドレスが本製品に付与されます。



NVR

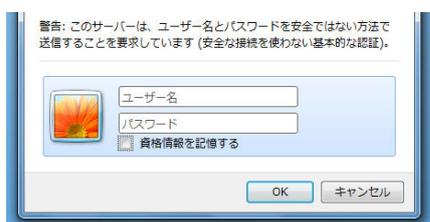
(4) DHCP サーバを持たないネットワーク環境に本製品を接続した場合、本製品は「192.168.101.50」が初期設定の IP アドレスとなります。

この場合、本製品にアクセスする PC の IP アドレスを、事前に本製品と同じアドレス体系に設定し、下記の手順で NVR にアクセスします。

例：IP アドレス 192.168.101.50 の NVR にアクセスした場合

- i. ブラウザに NVR の IP アドレス (<http://<NVRのIPアドレス>>) を入力しアクセスします。(例の場合、“<http://192.168.101.50/>”となります。)
- ii. 下記ログイン画面にユーザ名とパスワードを入力します。

※ 初期設定はユーザ名とパスワード共に「**admin**」です。



A 操作編

1. ライブ映像の閲覧

1-1 ライブ映像の閲覧方法

1-1-1. ライブ映像の閲覧

最初に管理画面右上の「メイン表示」を選択します。次に左側上部のライブ表示を選択します。



- (1) カメラ 1 台を表示するときは①のカメラツリーから「カメラ名」をクリックします。
- (2) グループ (4 カメラ) 全てのカメラを表示するときは、「グループ名」をクリックします。
※ NVR-504 の場合は、グループが 1 つのため、「ALL」表示のみになります。
- (3) 全てのカメラを表示する場合は「ALL」をクリックします。
※ カメラツリーのアイコン表示 (青 : ライブ表示中、赤 : ライブ表示・録画中、グレー : カメラ登録されているがカメラ未接続、! マーク : 接続エラー、黒 : 未登録)。
※ 「ALL」の表示は、アカウントタイプがアドミニストレーターの場合のみ対応しています。アカウントタイプについては、p33「1-7 ユーザアカウントの設定」および p35「1-9 グループ権限の設定」を参照してください。ただし、NVR-504 に関しては、全てのアカウントタイプにて「ALL」表示が可能となります。



1-1-2.ライブビデオコントロール

(1) スナップショット

ライブ映像上で右クリックし「スナップショット」をクリックすると、スナップショット画像が新しいタブで表示されます。

(2) 手動録画開始

ライブ映像上で右クリックし「手動録画開始」をクリックすると、カメラツリーのアイコンが赤に変わり手動録画を開始します。もう一度「手動録画開始」をクリックすると停止します。※手動録画中に設定画面等へ遷移した場合、録画が停止しますので注意して下さい。

(3) 音声の再生

ライブ映像上で右クリックし「音声の再生」をクリックすると、音声を聞くことができます。

※ カメラにマイクが内蔵または接続されている必要があります。

※ クライアント PC にスピーカーが内蔵または接続されている必要があります。

(4) 通話の開始

ライブ映像上で右クリックし「通話の開始」をクリックすると、カメラへ音声を発することができます。

※ カメラにスピーカーが内蔵または接続されている必要があります。

※ クライアント PC にマイクが内蔵または接続されている必要があります。

(5) デジタル PTZ

ライブ画面上で右クリックし「デジタル PTZ」をクリックすると、映像上の任意の位置を引き延ばして拡大することができます。デジタル PTZ はマウスのホイール操作またはドラッグにより拡大したい範囲を選択することで行います。

(6) 明るさ補正

ライブ画面上で右クリックし「明るさ補正」をクリックすると、映像の明るさを調節することができます。明るさは-5～+5の間で選択可能です。

(7) コントラスト補正

ライブ画面上で右クリックし「コントラスト補正」をクリックすると、映像の明るさを調節することができます。コントラストは-5～+5の間で選択可能です。

(8) ストリーム選択 (Stream selections)

カメラをマルチストリーム設定している場合、適用したいストリームを選択することができます。

※マルチストリーム設定については P40 を参照してください。



1-2 シーケンス（一定の間隔・順序で画面を切り替えて表示させる機能）

- (1) シーケンスさせる場合は、「シーケンス」①をクリックします。
- (2) シーケンスさせたいカメラまたはグループ②をチェックします。
- (3) 表示間隔を③から選択し、「開始」ボタン④をクリックするとシーケンスが開始します。（表記が「停止」に変わります。）「停止」ボタンをクリックすると停止します。

※ 「全チャンネル」をクリックすると、登録してある全てのカメラにチェックが入ります。1画面単位で指定した秒数毎に切り替えて表示されます。

※ 「全グループ」をクリックすると、登録してある全てのグループにチェックが入ります。4グループ4分割の画面で、指定した秒数毎に切り替えて表示されます。

なお、NVR-504には「全グループ」ボタンがありません。

※ シーケンスからライブ表示に切り替えるときは、メニューバーから「ライブ表示」をクリックします。



1-3 PTZ 操作

- (1) PTZ カメラを操作する場合は、最初に「ライブ表示」メニュー①で各グループ（「Group1」～「Group4」）または「ALL」を選択すると、②に操作可能な PTZ カメラのリストが表示されます。**※PTZ カメラにはデジタル PTZ カメラ（非対応機種有り）も含まれます。**
- (2) 次に②から PTZ カメラを選択します。
- (3) カメラの視点を動かす場合は、③のパネルの矢印（▲等）をクリックします。
- (4) ズームイン・ズームアウト・ホームポジションへの移動は、③のパネルの各ボタンをクリックします。

ZOOM IN : ズームイン（レンズの倍率を上げます）

ZOOM OUT : ズームアウト（レンズの倍率を下げます）

HOME : ホームポジションへの移動

※ ホームポジションの設定については p44「3-1 PTZ プリセット」を参照してください。

- (5) カメラのピント（焦点距離）、アイリス（絞り）調整は⑤のパネルから操作します。



■ PTZ 移動指定 (④)

カメラの視点移動／ズームのコントロールでの移動範囲の設定を行います。「1」～「10」をクリックして設定します。一回の操作にて、「1」は移動が少なく「10」は移動が大きくなります。非サポートカメラは『このカメラはサポートしていません』と表示されます。

■ 焦点距離 (⑤)

Focus Far : 遠くにピント調整

Focus Near : 近くにピント調整

Focus Auto : ピントの自動調整

■ 絞り (アイリス) (⑤)

Iris Close : 絞りを閉じる（暗くなる）

Iris Open : 絞りを開ける（明るくなる）

Iris Auto : 絞りの自動調整

※ PTZ コントロール機能をサポートしているカメラは②に機種名が表示されます。

1-4 PTZ プリセット位置表示・オートパン

1-4-1. プリセット位置映像の表示

PTZ カメラをプリセットポジションに移動します。

- (1) PTZ コントロールパネルから「プリセット」①を選択します。
- (2) カメラ②を選択します。
- (3) プリセットポジション③を選択します。
- (4) 「移動」ボタン④をクリックします。

※ プリセットポジションの設定については、p44「3-1 PTZ プリセット」を参照してください。

1-4-2. オートパン映像の表示

- (1) 「パン操作」ボタン⑤をクリックすると、左右へパン操作を行うことができます。
- (2) 「オートパン」ボタン⑥をクリックすると、自動で旋回します。

※ 一部のカメラでは「パン操作」ボタンに対応していません。その場合は「オートパン」を使用してください。

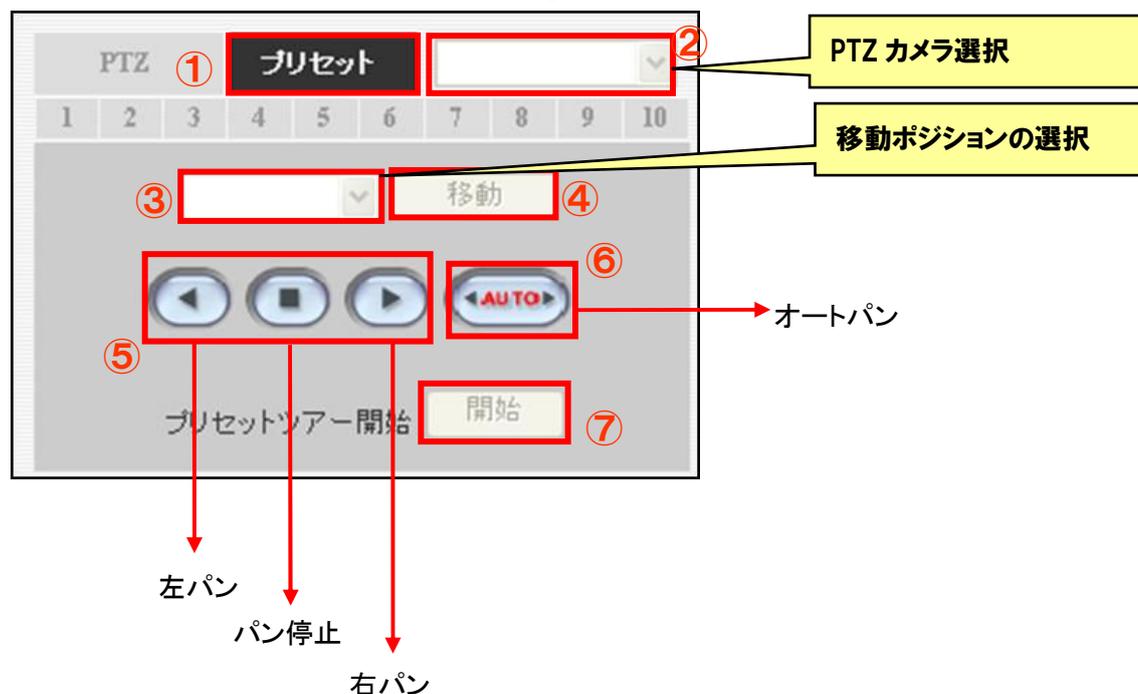
1-4-3. PTZ ツアー

PTZ カメラを自動巡回（PTZ ツアー）させます。

- (1) 「プリセットツアー開始」表記横の「開始」ボタン⑦をクリックします（表記が「停止」に変わります）。
- (2) 停止する場合は「停止」ボタン⑦をクリックします（表記が「開始」に変わります）。

※ あらかじめ p46「3-2 PTZ ツアー」の順に従って登録をしておく必要があります。

※ 1-4 の機能に対応しているカメラは下記②に機種名が表示されます。



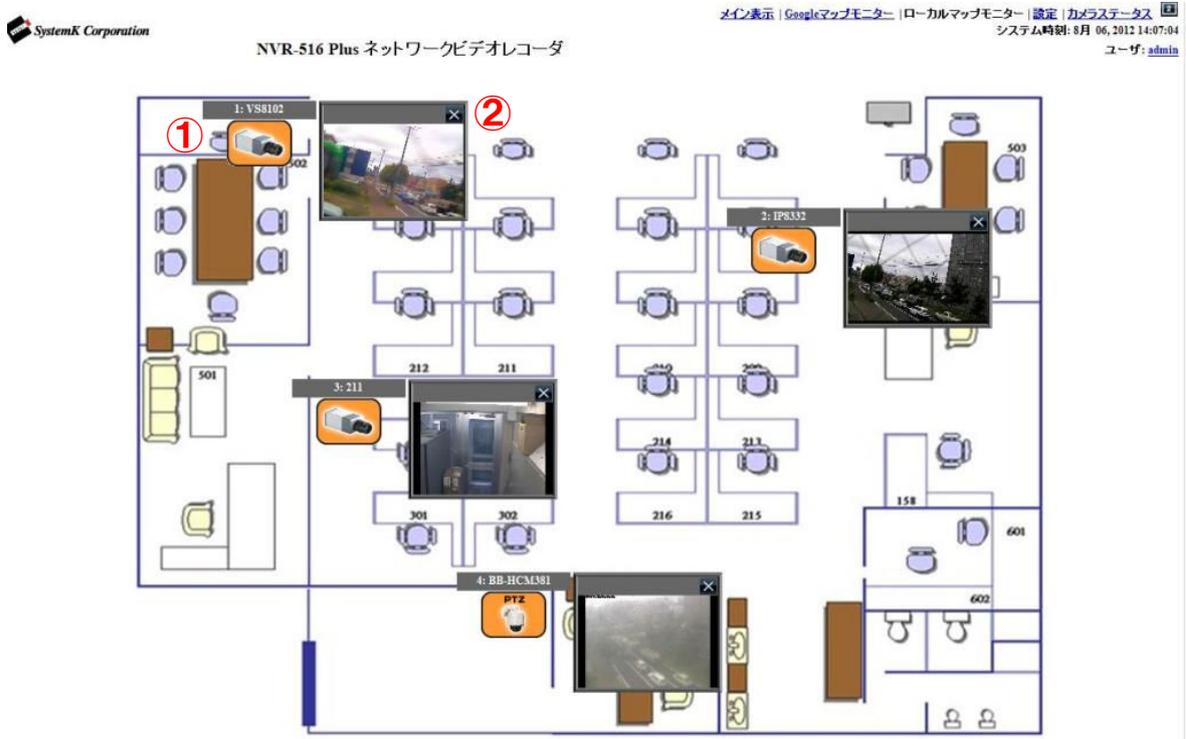
1-5 マップモニター

1-5-1. ローカルマップモニター



メイン画面右上部の『ローカルマップモニター』をクリックすると、設定したマップ上に、カメラ位置とカメラ映像を表示することができます。

- (1) カメラのアイコン①をクリックすると、ライブ画面が表示されます。
- (2) ライブ画面上の×ボタン②をクリックすると、ライブ画面が消えます。

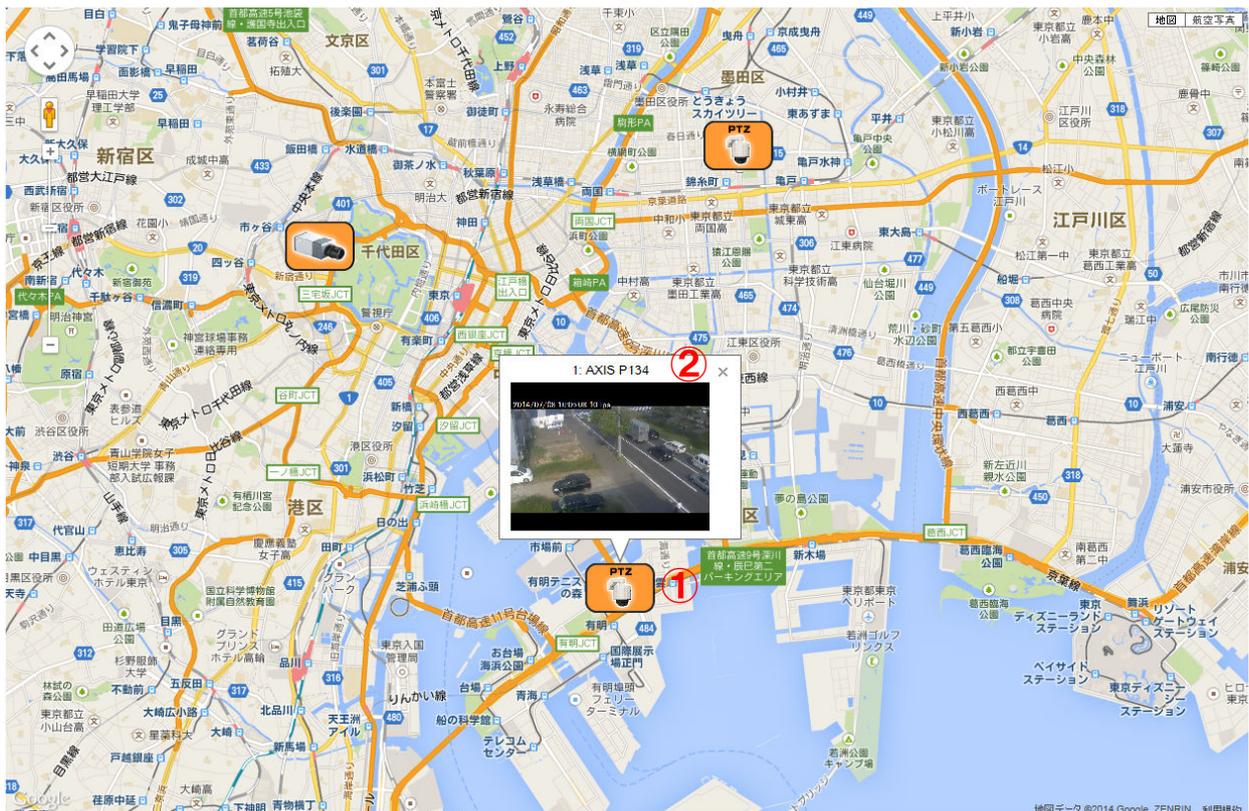


1-5-2. Google マップモニター



メイン画面右上部の『Google マップモニター』をクリックすると、Google マップ上に、カメラ位置とカメラ映像を表示することができます。

- (1) カメラのアイコン①をクリックすると、ライブ画面が表示されます。
- (2) ライブ画面上の×ボタン②をクリックすると、ライブ画面が消えます。



1-6 カメラステータス

メイン画面右上部の『カメラステータス』をクリックすると、別タブで下記のカメラステータスが表示され、カメラの動作状況を確認することができます。

SystemK Corporation

NVR-516 ネットワークビデオレコーダ

システム時刻: 7月 18, 2014 13:44:40
ユーザー: admin

カメラステータス												
チャンネルID	ストリーム最適化	チャンネル名	IPアドレス	HTTPポート	連続録画	スケジュール録画	イベント録画	手動録画	ストリーム1	ストリーム2	ストリーム3	ストリーム4
●	1	Off	P1343	192.168.101.26	80	V			● H.264 @ 800x600 5 fps, 27 kbps	-----	-----	-----
●	2	Off	210A	192.168.101.101	80	V			● MPEG4 @ 640x480 10 fps, 195 kbps	-----	-----	-----
●	3	Off	M3004	192.168.101.105	80				● H.264 @ 800x600 10 fps, 39 kbps	-----	-----	-----
●	4	On	M5013	192.168.101.106	81	V			H.264 @ 800x600 未接続	● H.264 @ 640x480 0 fps, 0 kbps	H.264 @ 480x360 未接続	H.264 @ 320x240 未接続
○	5								-----	-----	-----	-----

[カメラステータスの概要]

項目	表示内容
チャンネルステータス(左のアイコン)	赤: ライブ表示と録画動作中
	青: ライブ表示のみ作動中
	グレー: カメラ登録されているが未接続
	! マーク: 接続エラー
	白: カメラ未登録
チャンネル ID	カメラチャンネル番号
ストリーム最適化	AXIS 製カメラのみ対応 ※1
チャンネル名	カメラ設定名の表示(初期設定は機種名表示)
IP アドレス	カメラ IP アドレスの表示
HTTP ポート	カメラポート番号
連続録画	録画中は V 表示、録画停止中は空欄
スケジュール録画	録画中は V 表示、録画停止中は空欄
イベント録画	録画中は V 表示、録画停止中は空欄
手動録画	録画中は V 表示、録画停止中は空欄
ストリーム 1~4	画像フォーマット(MJPEG,MPEG-4,H.264)、画像解像度、フレームレート、データ転送レートの表示 ※2

※1 マルチストリーム参照 (p40)

※2 マルチストリーム設定をしている場合、各ストリームの設定値が表示されます。(p40)

「●」が表示されているものが現在録画に使われているストリームになります。下段にフレームレートと通信量が表示されているものが現在ライブに使われているストリームになります。

2. 録画再生

2-1 所定の時間で再生

メニューから「録画再生」①を選択します。

(1) 次にカメラ②を選択します。選択すると背景色が黒色から赤色になります（同時に4カメラまで選択できます）

(2) 再生画像の「検索モード」③を選択します。

※ 検索モードは「タイムチャートで」、「特定時間で」、「イベントで」、「最新イベントで」の4種類です。

(3) 次に「検索」④ボタンをクリックします。



2-2 タイムチャート再生

タイムチャートで録画データを検索します。

録画データはタイムチャート上に濃い灰色で表示されます。

(1) 最初に①の画面で年月日（灰色表示画面）を選択しクリックします。

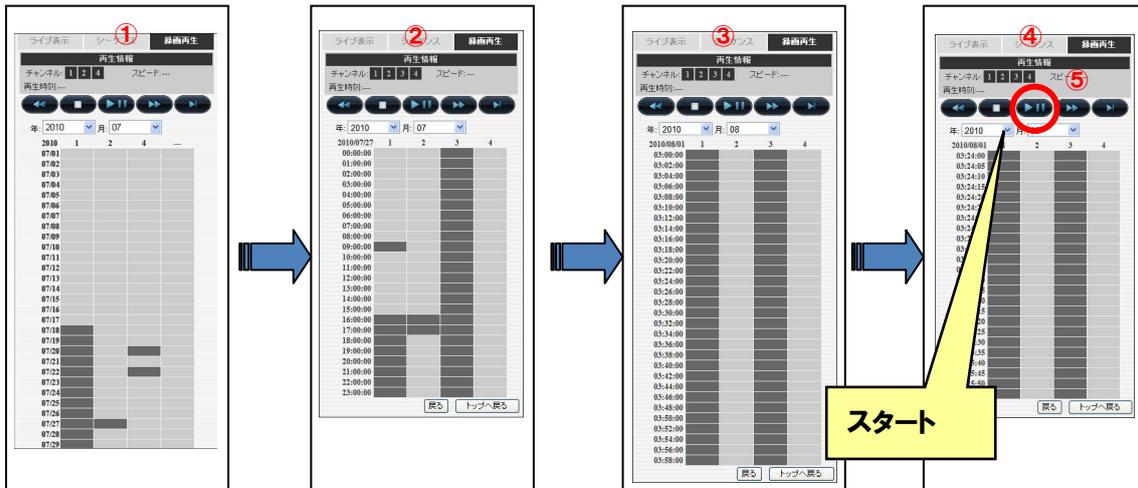
(2) 指定した日のタイムテーブル②が表示されるので、時間を選択しクリックします。

(3) 次に2分間隔のタイムチャート③が表示されます。時間を指定してクリックするとさらに5秒単位のタイムチャート④が表示されます。

(4) 再生開始時間をクリック、もしくは選択してスタートボタンをクリックすると再生が開始します。

(5) 再生速度を変える場合は⑤のボタンをクリックします。最大32倍速で再生します。

※ 詳細は p25 「2-6 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



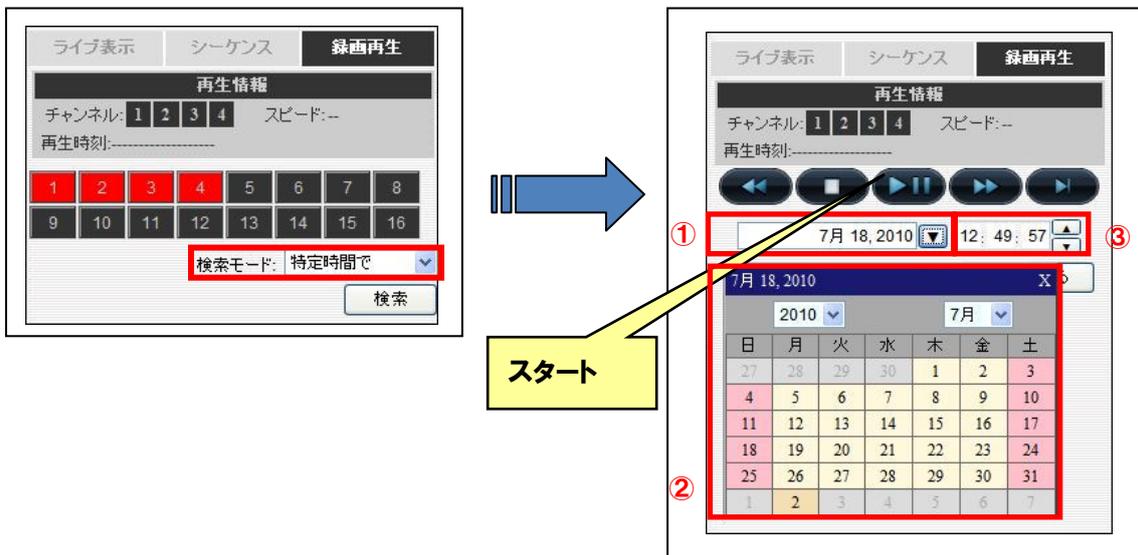
※ 再生は①～④のどのチャートからでもスタートできます。

2-3 特定時間で再生

- (1) 検索モードで「特定時間で」を選択し次に「検索」ボタンをクリックします。
- (2) 日付の右の「▼」マーク ① をクリックすると、カレンダー②が表示されますので再生開始日をクリックし、時間を③で指定します。手動で入力することもできます。
- (3) スタートボタンをクリックすると再生されます。

※指定の日時以降で最も近い日時の録画が再生されます。

※詳細はp25「2-6 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



2-4 イベントによる再生

ここではカメラのモーション検知、外部センサーに反応（イベント）した録画データを検索します。

(1) 録画再生の検索モードで「イベントで」①を選択します。

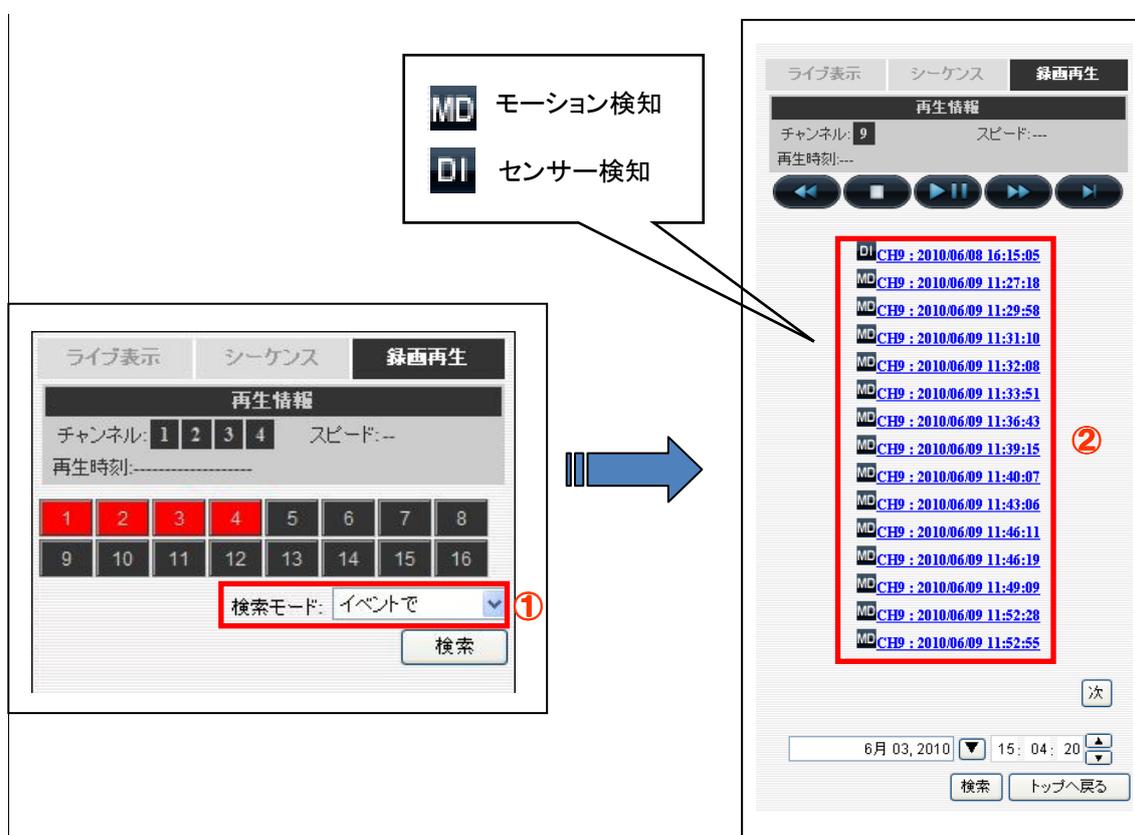
(2) イベントリスト②が表示されます。

※ 検索結果の表示可能数は、指定した日時を基点として古い順に 15 件表示されます。それ以降については、「次」をクリックすると表示されます。

検索条件により、最新のイベントは含まれない場合がありますので日時を調整して検索してください。

(3) イベントをクリックすると再生がスタートします。

※ 詳細は p25 「2-6 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



2-5 最新のイベントによる再生

(1) 録画再生の検索モードで「最新のイベントで」を選択します。

(2) 次にイベントリストが表示されます。

※ 新しい順に 15 件表示されます。

(3) 表示されたイベントをクリックすると再生がスタートします。

※ 詳細は p24 「2-6 録画再生コントロールパネル」を参照してください。

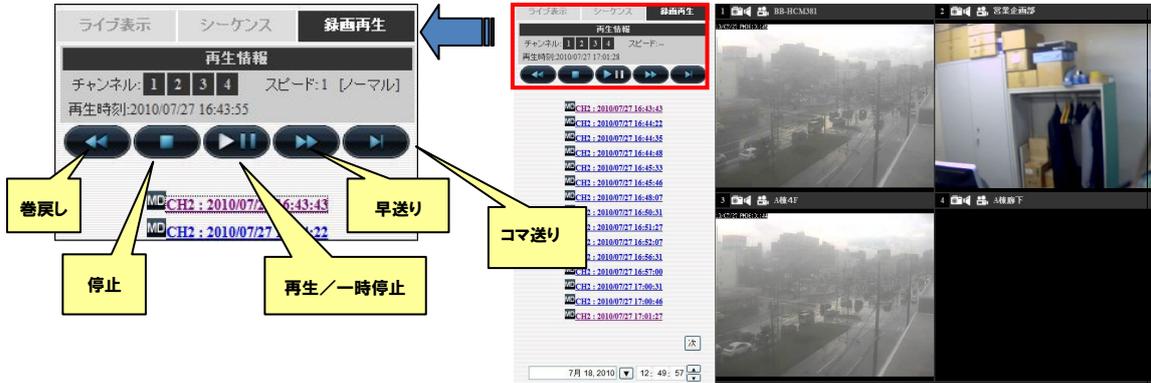
2-6 録画再生コントロールパネル

録画データの再生は下記のコントロールパネルで操作します。

再生／一時停止、停止、早送り（最大 32 倍速）・巻戻し（最大 32 倍速）が可能です。

※ クリックすると、動作中の操作表示ボタンが「青→白」に変わります。

※ 停止をクリックすると、画面はブランクとなり、再生イベントリストの先頭に戻ります。



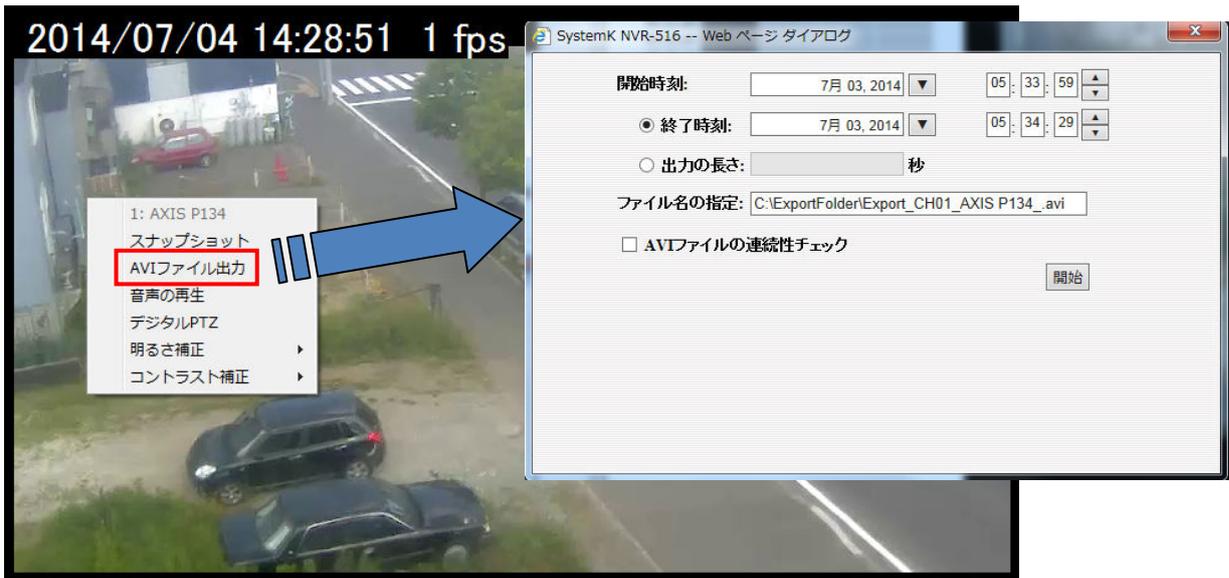
2-7 AVI 出力

録画データを AVI ファイルとして出力することができます。

- (1) 録画映像上で右クリックし「AVI ファイル出力」をクリックします。
- (2) 開始時刻を選択します。
- (3) 終了時刻または出力する長さを指定します。
- (4) 出力先フォルダを指定し「開始」ボタンをクリックします。

デフォルトの出力先・ファイル名は「C:\¥ExportFolder¥Export-CH01-<開始時刻>.avi」となります。

※ デフォルトファイル名の「CH××」は、カメラのチャンネル番号が入ります。



※ 出力先フォルダを指定する場合は、半角英数字を使用して下さい。その他の項目については変

NVR

更しないで下さい。また出力されたファイルがウィンドウズメディアプレーヤ等で再生できない場合は、ffdshow（フリーのコーデック）等をインストールして下さい。

また添付 CD に付属している NVR Media Player で再生可能です。

※NVR Media Player は統合ソフトをインストールすると同時にインストールされます。

この他 VLC Media Player（フリーのメディアプレーヤー）でも再生可能です。

※ ffdshow/VLC Media Player のインストールは本製品のサポート対象外です。

B 設定編

- ※ 本製品でシステム設定変更を実施し完了メッセージが表示されても、設定変更画面が再表示されるまで他の動作に移らないで下さい。設定変更が無効になります。

1. システム設定

1-1 管理画面の表示

- (1) 最初にブラウザのアドレス欄に NVR の IP アドレス (<http://<NVRのIPアドレス>>) を入力しアクセスします。
- (2) 下記ログイン画面にユーザ名とパスワードを入力します。
 - ※ 初期設定はユーザ名とパスワード共に「**admin**」です。
 - ※ ユーザ名とパスワードの設定については p33 「1-7 ユーザアカウントの設定」を参照してください。



1-2 言語の切り替え

本製品の表示言語を切り替えます。

- (1) 画面右上①の「admin」をクリックします。
- (2) ダイアログが開きますので、「言語」(language) より「日本語」(Japanese) を選択し、「適用」(Apply) をクリックします。
- (3) 画面が日本語に切り替わります。
 - ※ 選択されている言語により、画面表示 (項目名等) は変わります。下記画面は、日本語の画面です。

NVR

The image shows the NVR-516 Plus web interface. At the top, there are navigation links for 'Googleマップモニター', 'ローカルマップモニター', and 'カメラモニター'. The system time is 8月 06, 2012 14:44:21, and the user is 'admin'. The main area displays four camera feeds: 1. VS8102 (6 FPS), 2. IP8332 (6 FPS), 3. 211 (15 FPS), and 4. BB-HCM381 (4 FPS). A red circle with the number '1' is around the 'admin' user name. A red arrow points from this circle to a '言語' (Language) dropdown menu in a 'UserInfo' dialog box. The dialog box shows fields for 'ユーザー名: admin', '会社名:', '部署:', 'TEL:', '携帯電話:', 'Eメール:', 'グループ: admin', and '備考:'. The '言語' dropdown is set to '日本語' and is circled in red. Below the dialog are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

NVR

1-3 設定画面

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 画面右上①の「設定」をクリックすると設定画面に切り替わります。



1-4 ネットワークの設定

- (1) メニューから「システム設定」→「ネットワーク設定」を順にクリックします。
- (2) 接続タイプ（固定 IP、オートモードまたは DHCP クライアント）を選択します。固定 IP を選択した場合は、手で本製品に割り当てる IP アドレスを入力します。次にサブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、HTTP ポート番号（通常 80）を入力します。

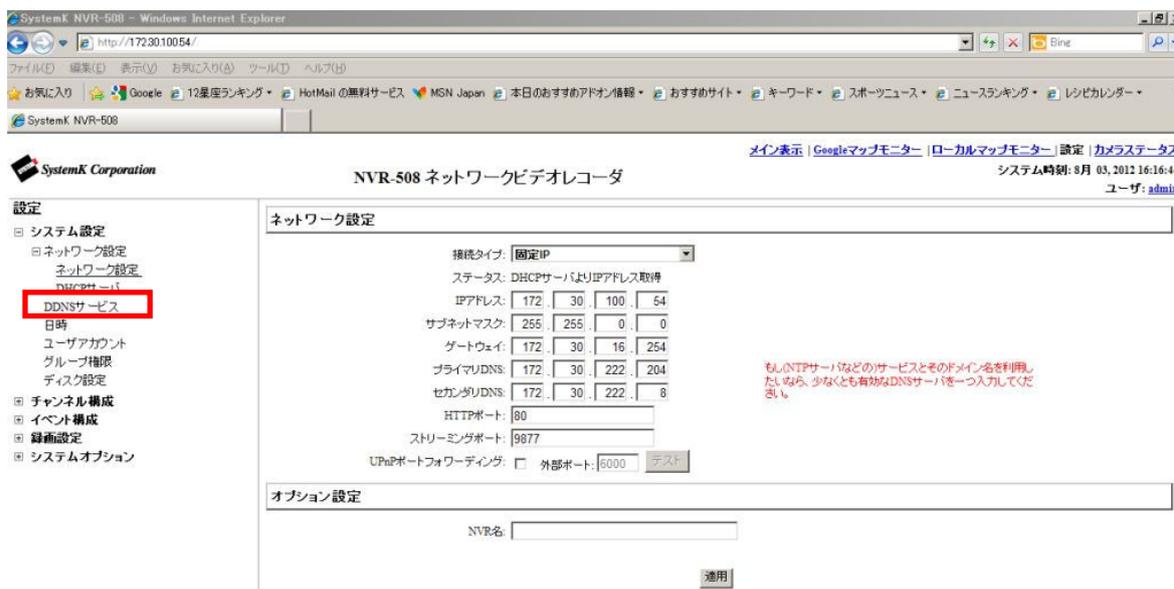
固定 IP：手で IP アドレス・サブネット・ゲートウェイなどの情報を設定する。

DHCP クライアント：DHCP により割り振られた IP アドレスを自動的に設定する。

DHCP サーバ機能は使用出来ませんのでご注意ください。

オートモード：DHCP 環境内にある場合は割り振られた IP アドレスを自動的に設定する。

NVR が DHCP 環境内に無い場合は IP アドレスが 192.168.101.50 になり、
NVR が DHCP サーバとなって同環境の機器に IP アドレスを割り振ります。
- ※ IP 関連の設定では、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイは必須項目です。必須項目の入力が不足している場合、設定が行えません。ゲートウェイのアドレスが不明の場合は、本製品の IP アドレスを入力して下さい。
- (3) ストリーミングポートは特に変更の必要が無ければ初期設定のままにします。
- (4) 「オプション設定」の「NVR 名」へ任意で記入します（未記入でもかまいません）。
 - ※ 日本語で入力し文字数を超える場合はエラー表示され、ひらがなのまま確定しますので、メモ帳等で漢字変換させ、入力欄にコピー&ペーストとして下さい。
- (5) DHCP サーバ機能を使用する場合、「DHCP サーバ」の「オン」を選択します。本製品の DHCP サーバ機能により IP アドレスが付与されたクライアント（カメラ等）が表示されます。
 - ※ 通常、DHCP サーバはオフを選択します。
 - ※ DHCP サーバ機能がオンの場合、NVR の IP アドレスは変更できません。一旦 DHCP サーバ機能をオフにしてから、IP アドレスの変更をお願いいたします。
- (6) 設定が完了したら適用をクリックします。
 - ※ ストリーミングポート 9877 がネットワーク、または PC で許可されていない場合、ライブ表示や録画再生で「UNABLE TO RECEIVE VIDEO」と表示され、映像は表示されません。
 - ※ インターネット経由で本製品にアクセスする場合は、ルータ等に HTTP ポート並びにストリーミングポートを転送（ポートマッピング）する設定が必要です。
 - ※ ポートマッピングは IP マスカレード、静的マスカレード、バーチャルサーバとも称します。



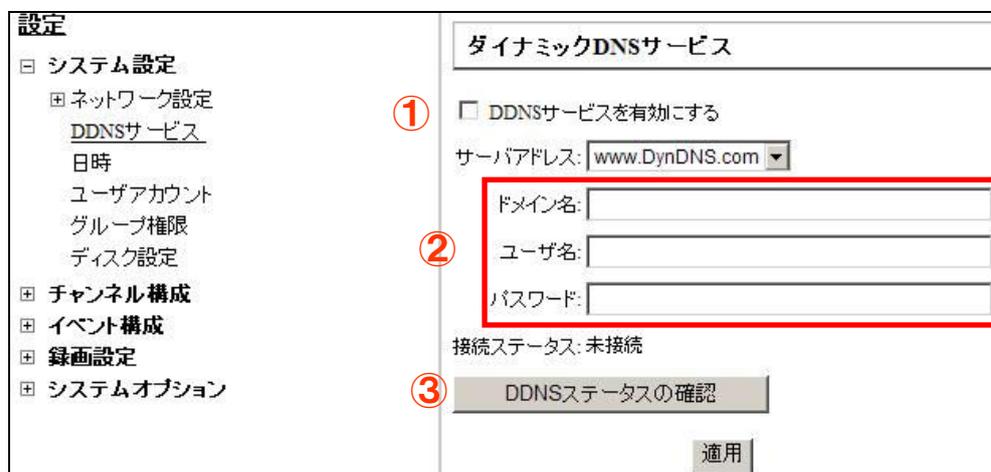
1-5 DDNS サービスの設定

※本機能を使用するためには事前に DynDns.com サイトから DDNS ドメイン名を取得する必要があります。尚、DynDns.com サイトでのドメイン取得についてはサポート致しておりません。

- (1) ①の「DDNS サービスを有効にする」をチェックします。
- (2) ②の欄に事前に取得した DDNS ドメイン名及びユーザ名・パスワードを入力します。
- (3) ③の「DDNS ステータスの確認」をクリックして設定が正しいか確認し、最後に適用をクリックします。

※NVR から 1 時間毎に現在の IP アドレス情報を確認し、変更されている場合は DynDNS に通知します。

※尚、IP アドレスが DNS サーバに浸透するまで 30 分以上のタイムラグが生じることがあります。



1-6 日時の設定

※録画開始後に時刻の手動変更は行わないでください。録画状態のまま時刻変更を行うと、録画データが破損し閲覧出来なくなる可能性があります。

※手動で時刻変更を行う場合は、録画を停止した上で時刻設定を行い、録画の開始はデータの不整合が起こらないように開始時刻を調整してください。

例) NVR の時刻 19 時から 18 時 55 分に戻したい場合は、19 時までは録画を行わずに 19 時以降から録画開始するようにしてください。

※時刻変更によりデータが破損した場合、AVI 出力や USB バックアップが出来なくなります。復旧するためには HDD のフォーマットを行う必要があります。

- (1) 設定画面右側のメニューから「システム設定」－「日時」の順にクリックします。
- (2) タイムゾーンは「GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul)」①を選択します。
- (3) 「手動」「NTP サーバと同期」「PC と同期」②のいずれかを選択します。
- (4) 「NTP サーバと同期」を選択した場合は、「NTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名」の入力と「アップデート間隔」③を選択します。

※NTP サーバをドメインで登録した場合は、NVR のネットワーク設定で DNS の設定が必要になります。

※P30 「1-4 ネットワークの設定参照」

※NTP サーバとの同期は、NVR の時刻が進んでいる場合にのみ同期が行われます。NVR の時刻が遅れている場合は補正されません。

※時刻同期が行われる際に、10 秒以上の変更がある場合、NVR が再起動します。再起動中、録画は停止されますので御注意ください。

- (5) NVR を NTP サーバとして動作させる場合は、「NVR を NTP サーバとして使用する」④にチェックを入れます。
- (6) NVR と時刻同期するクライアントの許可範囲を選択します。⑤

「NVR と同じネットワークにあるクライアント」を選択すると NVR と同じネットワークに接続されている機器のみ時刻同期が許可されます。

「すべて」を選択するとネットワークが異なる機器（インターネット経由など）も時刻同期が許可されます。

(7) 「適用」⑥をクリックします。

SystemK Corporation

NVR-516 ネットワークビデオレコーダ

タイムゾーン設定

タイムゾーン: GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo) ①

時刻設定

②

手動

年 2014 月 07 日 16

時 15 分 19 秒 11

③

● NTPサーバと同期

NTPサーバ: ntp.jst.mfeed.ad.jp

アップデート間隔: 24 hr

最終同期時刻: 7月 15, 2014 18:59:53. ステータス: 成功

○ PCと同期 7月 16, 2014 15:19:35

NTPサーバ

通知:

「すべて」を選択する場合、ファイアウォールルータゲートウェイのUDPポート123を開放してください。

④

NVRをNTPサーバとして使用する

許可するクライアント:

⑤

● すべて

○ NVRと同じネットワークにあるクライアント

⑥

適用/同期

システム時刻: 7月 16, 2014 15:19:11

1-7 ユーザアカウントの設定

- (1) ここでは本製品にアクセスするユーザの登録をします。
- (2) オプション以外の項目は全て記入し、①から所属するグループを選択し「追加」ボタンをクリックします。
 - ※ ユーザグループ設定として、「admin」、「group1」～「group5」、「guest」から選択できます。ライブ表示の「Group1」～「Group4」とは意味が異なります。
- (3) 同様の手順で順次ユーザを登録します。

SystemK Corporation

NVR-516 ネットワークビデオレコーダ
デモ機

メイン表示

設定

- システム設定
 - ネットワーク設定
 - ネットワーク設定
 - DHCPサーバ
 - DDNSサービス
 - 日時
 - ユーザアカウント
 - グループ権限
 - ディスク設定
 - チャンネル構成
 - イベント構成
 - 録画設定
 - システムオプション

ユーザアカウント設定

ユーザ名	グループ	備考
admin	admin	
test	group1	
guest1	group5	
guest2	guest	

編集 削除

ユーザの追加

ユーザ名:

パスワード:

パスワードの確認:

会社名: (オプション)

部署: (オプション)

TEL: (オプション)

携帯電話: (オプション)

Eメール: (オプション)

① グループ: group1 (dropdown menu)

言語: 日本語 (dropdown menu)

備考: (オプション)

追加

グループの選択

1-8 ユーザアカウントの編集・削除

- (1) 登録済みのユーザを修正する場合は、最初にユーザの名前を選択し「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 次に「ユーザの変更」欄でユーザ情報を修正し、最後に「適用」ボタンをクリックします。ユーザを削除する場合は「削除」ボタンをクリックします。

※ 編集の際パスワードは空欄となりますが、以前の入力は保持しています。

SystemK Corporation

NVR-516 ネットワークビデオレコーダ
デモ機

メイン表示

設定

- システム設定
 - ネットワーク設定
 - ネットワーク設定
 - DHCPサーバ
 - DDNSサービス
 - 日時
 - ユーザアカウント
 - グループ権限
 - ディスク設定
 - チャンネル構成
 - イベント構成
 - 録画設定
 - システムオプション

ユーザアカウント設定

ユーザ名	グループ	備考
admin	admin	
test	group1	
guest1	group5	
guest2	guest	

編集 削除

ユーザの追加

ユーザ名:

パスワード:

パスワードの確認:

会社名: (オプション)

部署: (オプション)

TEL: (オプション)

携帯電話: (オプション)

Eメール: (オプション)

グループ: (オプション)

言語: (オプション)

備考: (オプション)

追加

- ※ 同時アクセスは4クライアントまでの接続を推奨します。推奨クライアント数以上の接続の場合、表示画像の遅れが発生する場合があります。なお、全クライアント合計の表示可能ライブ画面の数は48画面です。

1-9 グループ権限の設定

- (1) グループを選択します（「Admin:admin」と「Guest:guest」は変更できません）。
グループ名を変更する場合は「グループ名の変更」をクリックし、新たなグループ名を入力します。
- (2) 設定したい「アカウントタイプ」を選択します。
※ 項目ごとにカメラチャンネル単位または機能単位の操作対象の有無が設定可能です。
チェックありが有効、なしが無効の設定となります。
- (3) 「適用」をクリックします。

■ グループ

(Admin:admin→アカウントタイプ・グループ名の変更不可)

Group1:group1→全てのアカウントタイプへ変更可能

Group2:group2 →全てのアカウントタイプへ変更可能

Group3:group3 →全てのアカウントタイプへ変更可能

Group4:group4 →全てのアカウントタイプへ変更可能

Group5:group5 →全てのアカウントタイプへ変更可能

(Guest:guest→アカウントタイプ・グループ名の変更不可)

■アカウントタイプ

アカウント名	権限内容	備考
アドミニストレーター	全てのアクセス権限を有する	
スーパーバイザー	「システムオプション」以外の権限を有する	ライブ表示の「ALL」は利用できません。
オペレーター	全ての操作が可能です	システム設定はできません。 ライブ表示の「ALL」は利用できません。
ビューアー	ライブ表示・PTZ の操作のみ可能です。	再生操作およびシステム設定はできません。 ライブ表示の「ALL」は利用できません。
ゲスト	ライブ閲覧のみ可能です。	ライブ表示の「ALL」は利用できません。

※ 操作可能なカメラは、別途カメラ単位で選択できます

1-10 ディスク設定

- (1) 新しいハードディスクを本製品に組み込んだ時、最初にフォーマットをします。
未フォーマットのディスクは、「ディスクステータス」に「オフライン」と表示されます。
- (2) 最初にフォーマットボタンをクリック、その後 OK をクリックします。完了の表示がされるまで暫くお待ち下さい。フォーマットが完了すると「ディスクステータス」に「オンライン」と表示されます。
- (3) フォーマットの 100%表示から完了まで多少時間がかかります。完了表示が表示されるまでそのままの状態です。暫くお待ち下さい。

※ ハードディスクのフォーマット中は、決して電源を切らないで下さい。

SystemK Corporation

NVR-516 ネットワークビデオレコーダ
デモ機

設定

- [-] システム設定
 - [-] ネットワーク設定
 - ネットワーク設定
 - DHCPサーバ
 - DDNSサービス
 - 日時
 - ユーザアカウント
 - グループ権限
 - ディスク設定
 - [+] チャンネル構成
 - [+] イベント構成
 - [+] 録画設定
 - [+] システムオプション

ハードディスク設定

ディスクID	ディスクタイプ	容量	ディスクステータス	フォーマット
1	内部	1783GB	オンライン	フォーマット

※ フォーマット後のディスク容量表示は 10 数パーセント程度、初期表示容量より減少します。この部分はシステム側で使用しております。

※ 録画データがあるハードディスクをフォーマットすると、録画データは全て削除されます。

2. カメラの登録

2-1 カメラの登録手順

2-1-1 カメラの登録

- (1) 「チャンネル構成」 - 「チャンネル設定」画面で「検索」① ボタンをクリックして、ネットワーク (LAN) に接続されているカメラを検索します。
- (2) 検索されたカメラのリストが表示されますので、リストから登録するカメラを選択し、「構成」② ボタンをクリックします。
- (3) 「新しいカメラの追加」の画面に、先ほど選択したカメラの情報が表示されます。
- (4) チャンネル ID、チャンネル名、所属させるグループ、カメラに設定されている「ユーザ名」と「パスワード」、HTTP ポート (80 以外が設定されている場合に変更) を入力し「Next」③ ボタンをクリックします。
- (5) カメラが検知されると、「カメラ設定情報」画面が表示されます。フォーマット、解像度、品質その他を選択、連続録画、録音の有無をチェックし「追加」④ ボタンをクリックしてカメラの登録を完了します。

※ 品質選択の数字と品質の対応は機種毎に異なります。メイン表示画面にて表示される画質を確認して下さい。

例：Panasonic i-pro シリーズ (1：最高画質>10：最低画質)

Panasonic BB-HCM シリーズ (1：高画質>3：低画質)

AXIS213 (10：最高画質>1：最低画質)

- ※ カメラの解像度・フレームレート設定は、カメラの機種毎で選択可能項目が異なります。
- ※ カメラの設定情報は、カメラの機種や選択したフォーマット毎で異なります。
- ※ ビデオポートはカメラに依存します (非対応のカメラがあります)。
- ※ 音声非対応のカメラの場合でも録音のチェック可能ですが、チェックがついていても録音対応はできません。

「プレビュー」⑤ ボタンをクリックすると、カメラの映像を確認することができます。

2 台目以降も引き続き同様の手順でカメラを追加します。

※外部のネットワーク (インターネット) に設置されているカメラの登録は、手動で IP アドレスを入力し、「検知」③ ボタンをクリックします。自動での検索はできません。

※インターネット経由での外部ネットワークに接続されたカメラを登録する場合、カメラまたはルータに固定のグローバル IP アドレス (または DDNS のドメイン) が設定されている必要があります。

チャンネル設定

ここをクリックしてカメラを検索してください **検索** ①
 *下記『新しいカメラの追加』から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。



チャンネル設定

ここをクリックしてカメラを検索してください: **再検索**
 *下記『新しいカメラの追加』から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。

メーカー	モデル	IPアドレス	HTTPポート	インストール
AXIS	AXIS M3004 - 00408CE24394	192.168.5.151	80	
AXIS	210A	192.168.101.101	80	
AXIS	210A	192.168.101.102	80	
AXIS	M3004	192.168.101.105	80	
AXIS	M5013	192.168.101.106	81	
Panasonic	SC385	192.168.101.110	80	

検索されたカメラのリスト

② **構成** 検索結果からカメラを選択してから「構成」をクリックし、下記の設定を行います。

新しいカメラの追加:

チャンネルID: 1

チャンネル名: M5013

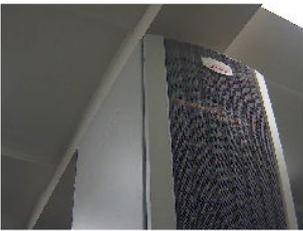
グループ: Group1 **グループ名の変更**

IPアドレス: 192.168.101.106

ユーザ名: root

パスワード: ●●●●

HTTPポート: 81



⑤ **プレビュー**

「新しいカメラの追加」画面

③ **次へ** 上記の空欄にカメラ情報を入力してから「検知」をクリックしてください。

カメラ設定情報 詳細設定

ビデオポート: 554

圧縮方式: MJPEG

解像度: 800x600

フレームレート: 1

画質: 8

録画: 連続 1FPS

圧縮方式: ライブビューと同じ

録音: 録音

「カメラ設定情報」画面

④ **追加** **キャンセル**

編集の場合、この部分が「適用」となります。

2-1-2 マルチストリーム

マルチストリーム設定をすると、ライブと録画を異なる設定で登録したりライブ映像の表示サイズにより最適な解像度の設定に変更したりすることができます。

※AXIS 製カメラ M、P、Q シリーズのみ対応しています。

- (1) カメラを検知した後に表示される「カメラ設定情報」画面の右上「詳細設定」①にチェックを入れます。
- (2) カメラ設定情報が切り替わり、マルチストリーム設定が入力可能となります。
- (3) 各ストリームの設定②を入力します。
- (4) ライブおよび録画に使用するストリームを選択します。③
 - ※モバイルは、FW : 2.1.1SK.30070802 以前では使用できません。
 - ※「ライブビューに合わせたストリーム最適化」にチェックを入れると、メイン表示の画面サイズに合わせてストリーム 1~4 の中で最適な解像度のストリームに自動で切り替えることができます。この時、ライブのストリームは選択不可となります。
- (6) 連続録画および録音の有無をチェックします。④
- (7) 「追加」⑤ ボタンをクリックしてカメラの登録を完了します。

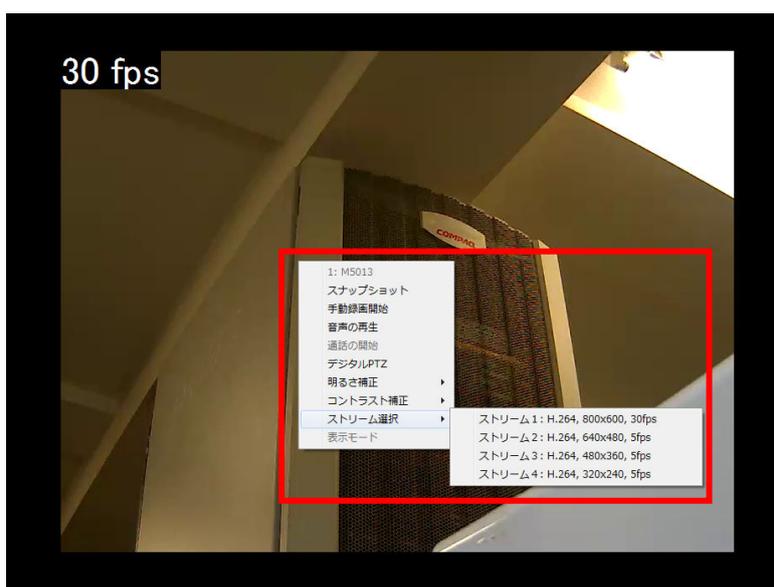
※マルチストリームでカメラを登録すると、チャンネル設定画面上部のカメラの設定値の中のストリーム最適化欄に On または Off が表示されます。

On : 「ライブビューに合わせたストリーム最適化」にチェックを入れている。

Off : 「ライブビューに合わせたストリーム最適化」にチェックを入れていない。

正しくありません : マルチストリームを設定していない。

※マルチストリームでカメラを登録すると、メイン表示のライブ映像上で右クリックして表示されるメニューから、適用したいストリームを選択することができます。



カメラ設定情報 詳細設定 ①

ビデオポート: 554

圧縮方式: MJPEG

解像度: 320x240

フレームレート: 15

画質: 8

録画: 連続 1FPS

圧縮方式: ライブビューと同じ

録音: 録音



カメラ設定情報 詳細設定

*マルチストリーミングをサポートしたカメラの場合、それぞれのストリームに合わせて最適な解像度に変更することができます。

ポート設定

ビデオポート: 554 ②

基本設定

ストリーム1	ストリーム2	ストリーム3	ストリーム4
圧縮方式: H.264	圧縮方式: H.264	圧縮方式: H.264	圧縮方式: MJPEG
解像度: 800x600	解像度: 800x600	解像度: 160x90	解像度: 800x600
フレームレート: 1	フレームレート: 1	フレームレート: 1	フレームレート: 1
ビットレートモード: VBR	ビットレートモード: VBR	ビットレートモード: VBR	フレームレート: 1
画質: 9	画質: 1	画質: 1	画質: 1

詳細設定

ライブ: ストリーム1

録画: ストリーム2 ③

モバイル: ストリーム3

ライブビューに合わせたストリーム最適化

連続 I Only ④

録音

⑤

2-1-3 カメラの編集・削除

- (1) チャンネル設定のチャンネルの番号 ① をクリックすると編集・削除ボタンが有効になります。
- (2) 「編集」 ② ボタンをクリックすると「チャンネル設定の編集：」の画面に登録データが表示されます。
- (3) チャンネル設定の編集：」の内容を修正してから「検知」 ③ ボタンをクリックします。
- (4) カメラが検知されると、「カメラ設定情報」の画面に登録データが表示されます。
- (5) 「カメラ設定情報：」の内容を修正してから「適用」 ④ ボタンをクリックします。
- (6) 「設定を変更しました」とメッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックして変更を完了します。

チャンネル設定

チャンネル	チャンネル名	グループ	IPアドレス	圧縮方式	解像度
① 1	IP7138	Group1	172.30.100.171	MJPEG	1280x1024

②

⑤
 ここをクリックしてカメラを検索してください:
*下記『新しいカメラの追加』から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。

チャンネル設定の編集:

チャンネルID: 1

チャンネル名:

グループ:

IPアドレス:

ユーザー名:

パスワード:

HTTPポート:

③ カメラ情報を修正してから「検知」をクリックしてください。

カメラ設定情報

ビデオポート:

圧縮方式:

解像度:

フレームレート:

画質:

録画: 連続

録音: 録音

④

2-2 OSD(オンスクリーン表示)

※初期設定では、OSD は表示する設定になっています。

- (1) ライブ画像に表示するテキストを設定します。最初に①で設定するチャンネルを選択します。
- (2) 次に②で表示オプションを選択します。表示は、時刻表示、FPS 表示、テキスト (任意) の3項目です。
- (3) 次に③で表示させる画面上の位置を指定します。
- (4) 最後に④で文字サイズ、文字の背景色等を設定します。
- (5) 設定が完了した後に⑤の適用をクリックします。

※ 日本語でテキスト表示をする場合、フォント選択はデフォルトのままとして下さい。
 その他のフォントを選択した場合は文字化けします。

※ テキストは半角英数字、30 文字以内で入力してください。

The screenshot shows the NVR-516 Plus network video recorder's OSD configuration interface. The interface is in Japanese and shows various settings for on-screen display. A live video feed is visible on the right side of the screen, showing a street scene with a building and a car. The OSD text "2012/08/06 14:16:01 5 fps, 事務所" is overlaid on the video. The configuration panels are numbered 1 through 5, corresponding to the steps in the text above.

- ① OSD(オンスクリーン表示)設定**: Channel selection (チャンネル: 2: IP8332), OSD display options (OSDを表示しない / OSDを表示する).
- ② テキスト表示オプション**: Checkboxes for 特別表示 (checked), FPS表示 (checked), and テキスト表示 (checked) with the text "事務所" entered.
- ③ OSD表示位置**: Position selection (OSD表示の位置: 左上).
- ④ OSD文字と背景のカスタマイズ**: Text size (自動), text color (変更), font (デフォルト), and text background color (指定).
- ⑤ 適用**: Apply button.

3. PTZ 設定

3-1 PTZ プリセット

ここではチャンネル（カメラ）ごとに、PTZ カメラのポジションナンバー（プリセット番号）の登録を行います。**※PTZ カメラにはデジタル PTZ カメラ（非対応機種有り）も含まれます。**

3-1-1 手動登録

- (1) ①からカメラを選択します。
- (2) 「追加」② ボタンをクリックし、「ポジション名」を選択し、ポジションの名称を入力します。
 - ※ 「ポジション名」は半角英数字（最大 16 文字）で入力してください。
 - ※ 日本語で登録されたカメラと同期した場合、文字化けが発生します。その場合、半角英数字（最大 16 文字）で再設定して下さい。ポジション名はカメラにより登録可能な数が異なります。
- (3) カメラ映像を見ながら「パン」「チルト」の矢印ボタン、ズーム、フォーカスの各ボタンを操作し、プリセット位置を設定し、「適用」③ ボタンをクリックします。この手順で順次カメラ毎に設定します。

3-1-2 設定変更

- (1) 設定変更をする場合は「ポジション名」④ 欄の数字をクリックして選択（背景色が変わります）し、「編集」⑤ ボタンをクリックします。
- (2) このポジションナンバーをホームポジションに設定する場合は、「ホームポジション」⑥ 欄のラジオボタンを選択します。
- (3) このポジションナンバーをイベント時のプリセット位置に設定する場合は、「イベント発生時プリセットポジション」⑦ 欄のラジオボタンを選択します。
 - ※ ここでのホームポジションの設定は、カメラ本体でのホームポジションの設定とは別となります。

3-1-3 登録の削除

- (1) 登録を削除する場合は「ポジション名」④ 欄の数字をクリックして選択（背景色が変わります）し、「削除」⑧ ボタンをクリックします。

3-1-4 「カメラと同期」による登録

- (1) 「カメラと同期」⑨ をクリックすると、カメラに登録された PTZ 設定リストが表示されます。
- (2) PTZ 設定リスト表示後、3-1-2 「設定変更」の手順にて各種設定を行います。

NVR

SystemK Corporation NVR-516 Plus ネットワークビデオレコーダ

メイン表示 | Googleマップモニター | ローカルマップモニター | 設定 | カメラステータス
システム時刻: 8月 06, 2012 14:27:22
ユーザ: admin

設定

- システム設定
- チャンネル構成
 - チャンネル設定
 - OSD(オンスクリーン表示)設定
- PTZ設定
 - PTZプリセット**
 - PTZツアー
- E-マップ設定
- イベント構成
- 録画設定
- システムオプション

PTZプリセット

チャンネル: 4. BB-HCM381

ホームポジション イベント発生時プリセットポジション

追加 編集 削除 カメラと同期

ポジション番号: 1
ポジション名: P-1

PTZのスピード: 1
ズーム: ズームイン ズームアウト
フォーカス: 近 自動 遠
備考:

チルト
パン

適用

設定変更する際にクリック

チャンネル: 1. BB-HCM381

ホームポジション	イベント発生時プリセットポジション	ポジション番号	ポジション名	備考
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1	aa	

追加 編集 削除 カメラと同期

※ 「PTZ プリセット登録」を行うと、カメラ本体側のプリセット登録も設定・更新されます。本システム以外でもカメラを使用されている場合はご注意ください。

3-2 PTZ ツアー

ここではプリセットした PTZ ポジションを巡回する設定をします

- (1) 「チャンネル」① からカメラを選択し、「プリセットポジション」②の一覧を表示します。
- (2) 「プリセットポジション」欄のカメラ名をクリックして選択し、巡回させたい順に「プリセットシーケンス」③に「→」で移動させます。

(「←」で「プリセットシーケンス」からはずすこともできます。)

※ 「プリセットシーケンス」欄のカメラ名をクリックして選択し、「↑」「↓」をクリックすることにより、シーケンスの順序の変更ができます。

- (3) 次のポジションに移るまでの時間を、「滞留時間」④で選択します。

1/2/3/5/10/20/30/45/60 秒を選択することが可能です。

- (4) 設定が完了したら、「適用」⑤をクリックします。

SystemK Corporation NVR-516 Plus ネットワークビデオレコーダ

メイン表示 | Googleマップモニター | ローカルマップモニター | 設定 | カメラステータス
システム時刻: 8月 06, 2012 14:52:30 ユーザ: admin

設定

- システム設定
- チャンネル構成
 - チャンネル設定
 - OSD(オンスクリーン表示)設定
- PTZ設定
 - PTZプリセット
 - PTZツアー
- E-マップ設定
- イベント構成
- 録画設定
- システムオプション

PTZツアー

チャンネル: 4 BB-HCM381

プリセットポジション:	プリセットシーケンス:
P-1	P-1
P-2	P-2

滞留時間: 20s

適用 キャンセル

←/→ ボタンをクリックして移動順を変更します

4. E-マップモニター

4-1 E-マップモニター[ローカルマップ]の設定

E-マップモニターを使用することで、マップ上にカメラ位置とカメラ映像を表示することが出来ます。

4-1-1 マップ画像の変更

- (1) 「検索」① をクリックし、『アップロードするファイルの選択』ダイアログを表示し、差
替えた画像を選択します。
 - (2) 「アップロード」② をクリックし、マップ画像を変更します。
- ※ E-マップとして使用できる画像形式は「jpg」で画像サイズは100KB以内です。

4-1-2 カメラアイコン

- (1) 各カメラのアイコンをドラッグし、マップ上の任意の場所へ移動させます。
また、各カメラアイコン左上のチェックボックスのチェックを外すと、ローカルマップ
モニター表示上でカメラが表示されなくなります。
- (2) 設定が完了したら、「適用」③ をクリックします。

NVR

SystemK Corporation

NVR-516 Plus ネットワークビデオレコーダ

メイン表示 | Googleマップモニター | ローカルマップモニター | 設定 | カメラステータス
システム時刻: 8月 06, 2012 15:11:13
ユーザ: admin

設定

- システム設定
- チャンネル構成
 - チャンネル設定
 - OSD(オンスクリーン表示)設定
 - PTZ設定
 - E-マップ設定
 - ローカルマップ設定
 - Googleマップ設定
- イベント構成
- 録画設定
- システムオプション

画像をアップロード: ① ②

③

カメラのアイコンをドラッグして任意の位置に移動させます。

4-2 E-マップモニター[Google Map]の設定

Google Map を利用して地図上にカメラを配置することができます。

広域の複数拠点に NVR を設置している場合、このマップ機能を有効に活用することができます。

4-2-1 カメラ設置場所の地図検索

カメラを設置場所の地図に配置するためには、下記画面から①チャンネルを選択し、設置場所の住所を入力してから『検索』ボタン②をクリックします。カメラアイコンがその位置に自動で移動します。最後に「適用」③ をクリックします。

※Google Map を利用する場合は、NVR をインターネットと接続しているネットワークに設置する必要があります。



5. イベント構成

5-1 一般設定

ここでは「イベントトリガー」の基本的な設定を行います。

設定が完了したら、「適用」⑦ をクリックします。

※ イベントトリガーとはイベントの発生要因のことです。

5-1-1 イベントトリガー有効時間

「イベントトリガー」を有効にする時間帯を設定します

※ イベントトリガーの有効期間の指定時間のみの設定は、カメラのモーション検知とカメラの I/O のイベントのみ有効となります。その他のイベントに関しては、常時有効となります。

※ 初期状態は常時です。

5-1-2 イベントトリガー間隔

イベント発生後、次のトリガーを検知するまでの間隔を設定します。

※ イベントトリガー間隔の設定可能範囲は 5-86400 秒です。

5-1-3 トリガーアクション

イベントトリガーと連動して、電子メールまたは FTP にてメッセージと画像を送信します。

別途、「イベントトリガー」-「トリガーアクション」設定及び、「SMTP サーバ」設定（電子メールの場合）または「FTP サーバ」の設定（FTP の場合）が必要です。

(1) 「件名(対象)」① はオプションです。件名を任意の文章に変更できます(半角英数のみ)。

※ 初期状態[<TIME> : <CH> <TRIGGER> from <IP>]では、イベント発生日時、チャンネル No、トリガーの種類、NVR の IP アドレスが表示されます。

例 : Fri Jul 3 14:54:32 2009 : CH3 MD from 172.30.222.252

(2) 「メッセージの送信」② にチェックを入れると、テキスト入力欄に記載された内容を、メールおよび FTP にて送信して、テキストファイルで確認できます（半角英数のみで、未入力は不可）。

(3) 「FTP ファイル名」③ は必須項目です。FTP で送信するテキストファイルの名前を任意で設定できます（半角英数のみ）。また、拡張子 (.txt) の記述は不要です。

※ 初期状態[<IP>_<CH>_<TRIGGER>_<TIME>]では、NVR の IP アドレス、チャンネル No、トリガーの種類、イベント発生時間が表示されます。

例 : 192.168.90.9_CH2_MD_2010423-195106

※ 「FTP ファイルの名前」を設定しない場合、ファイルが送信されなくなります。

- (4) 「イメージの送信」④ にチェックを入れると、送信する画像のフレーム数⑤ の変更 (1 ~3) と、「ファイル名」⑥ を任意の名称へと変更できます (半角英数のみ)。また、拡張子 (.jpg) の記述は不要です。

※ 送信ファイル名は、「ファイル名_フレーム番号 (0~2) _累計数 (過去も含む) .jpg」となります。

※ファイル名に<IP>_<CH>_<TRIGGER>_<TIME>を入力すると NVR の IP アドレス、チャンネル No、トリガーの種類、イベント発生時間が付与されます。また<TIME>だけ入力すると、イベント発生時間がファイル名に付与されます。

一般設定 ヘルプ

イベントトリガー有効時間

常時
 指定期間のみ: 日 月 火 水 木 金 土
 開始時刻: 00 : 00 終了時刻: 00 : 00

イベントトリガー間隔

間隔: 5 秒 (5-86400)

トリガーアクション

① 件名: <TIME> : <CH> <TRIGGER> from <IP>

② メッセージの送信
 テキスト:
 test_mail

③ FTP ファイル名:
 <IP>_<CH>_<TRIGGER>_<TIME>

④ イメージの送信

⑤ 1 フレーム

⑥ ファイル名:

⑦

- (5)設定が完了したら、「適用」⑦ をクリックします。

5-2 イベント構成 I/O 設定

I/O (Input/Output) の各種設定を行います。項目別・設定例 (NVR-516 の設定例) にて説明します。

※304basic には本体 I/O がいないため、NVR トリガーイベント設定はございません。

- (1) トリガーイベント発生時：トリガーイベントとして使用する、「カメラ」または「NVR」の入力ポートの情報を設定します。
 - (2) カメラ：カメラ本体にある I/O ポートと連動しています。ポート数もカメラが持っている I/O ポート数が表示されます。
 - (3) NVR-516(③)：選択可能な 1~8 の数字が、NVR 本体背面の I/O ポートの「Alarm Input」の 3~10 番目のポートと連動しています。
 - (4) トリガー出力：トリガーイベントと連動して使用する、NVR 本体のデジタル出力 (DO) ポートの情報を設定します。
- ※ NVR の I/O ポートから出力する用途がなければ設定は不要です。
- (5) NVR-516(⑤)：本体背面 I/O ポートの「Out1~Out4」の 11~14 番目のデジタル出力 (DO) ポートと連動しています。
 - (6) ポート：選択可能なポートが表示されます。
 - (7) 状態：イベントを実行させる際の、入力ポート／出力ポートの状態を選択します。

Open : 開放 → 「High」、「Ground to Open」、「Rising」

Ground : 短絡 (ショート) → 「Low」、「Open to Ground」、「Falling」

Change : 開放と短絡が切り替わった時

- (8) 持続時間：デジタル出力 (DO) の信号の送信時間です。0 にすると接点信号が連続 (無限に) 出力されます。

※ 無制限出力の解除は、p69 「7-4 DO ポート状態」現在の状態にて変更することができます。

	① トリガーイベント発生時				④ トリガー出力		
	② カメラ		③ NVR-516		⑤ NVR-516		
	⑥ ポート	⑦ 状態	ポート	状態	⑥ ポート	⑦ 状態	⑧ 持続時間
NVR-516	-----	-----	-----	-----	Disable ▼	Disable ▼	0 秒 (0:無制限、または5~86400秒)
チャンネル 1	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	0 秒 (0:無制限、または5~86400秒)
チャンネル 2	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	0 秒 (0:無制限、または5~86400秒)
チャンネル 3	-----	-----	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	0 秒 (0:無制限、または5~86400秒)
チャンネル 4	-----	-----	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	Disable ▼	0 秒 (0:無制限、または5~86400秒)

適用 キャンセル

例1)

例2)

例3)

例4)

例5)

※ イベント I/O 設定例

例 1) : 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」の「NVR トリガー発生要因」・「トリガーアクション」と組み合わせて使用

「イベントトリガー」設定にて登録した NVR 本体の状況（「NVR シャットダウン」など）が発生した場合をトリガーとします。NVR 本体のデジタル出力ポート 1 へ接点信号が出力され、デジタル出力ポート 1 の状態が「Open」になります。

※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「NVR トリガー発生要因」の任意の要因にチェックを入れ、「トリガーアクション」の「トリガー I/O 出力」にチェックを入れ、適用されている必要があります。

※ 「システムオプション」 - 「DO ポート状態」の「出力 1」の「通常の状態」が「Ground」になっている必要があります。

例 2) : チャンネル 1 のイベントとして、NVR 本体の Alarm Input ポート 1 が「Open」になった場合をトリガーとして使用

NVR 本体のデジタル出力ポート 2 へ接点信号が出力され、デジタル出力ポート 2 の状態が「Open」になります。接点信号の出力時間は 5 秒です。

※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「カメラトリガー発生要因」の「I/O 入力」にチェックを入れ適用されている必要があります。

※ 「システムオプション」 - 「DO ポート状態」の「出力 2」の「通常の状態」が「Ground」になっている必要があります。

例 3) : チャンネル 2 のイベントとして、カメラの I/O ポート 2 が「Open」になった場合をトリガーとして使用

NVR 本体のデジタル出力ポート 3 へ接点信号が出力され、デジタルポート 3 の状態が「Open」になります。信号の出力時間は 5 秒です。

※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「カメラトリガー発生要因」の「I/O 入力」にチェックを入れ適用されている必要があります。

※ 「システムオプション」 - 「DO ポート状態」の「出力 3」の「通常の状態」が「Ground」になっている必要があります。

例 4) : チャンネル 3 のイベントとして、NVR-516 本体の Alarm Input ポート 3 が「Open」になった場合をトリガーとして使用

NVR 本体のデジタル出力ポート 4 へ接点信号が出力され、デジタル出力ポート 4 の状態が「Open」になります。

※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「カメラトリガー発生要因」の「I/O 入力」にチェックを入れ適用されている必要があります。

※ 「システムオプション」 - 「DO ポート状態」の「出力 4」の「通常の状態」が「Ground」になっている必要があります。

例 5) : チャンネル 4 のイベントとして、カメラの I/O ポート 1 が「Ground」になった場合をトリガーとして使用

NVR 本体のデジタル出力ポート 3 へ接点信号出力され、デジタル出力ポート 3 の状態が「Ground」になります。

- ※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「カメラトリガー発生要因」の「I/O 入力」にチェックを入れ適用されている必要があります。
- ※ 「システムオプション」 - 「DO ポート状態」の「出力 3」の「通常の状態」が「Open」になっている必要があります。
- ※ 「トリガーイベント時」は「カメラ」または「NVR-516 (③)」のどちらを使用するか選択できます（一部のカメラを除き、両方使用することもできます）。

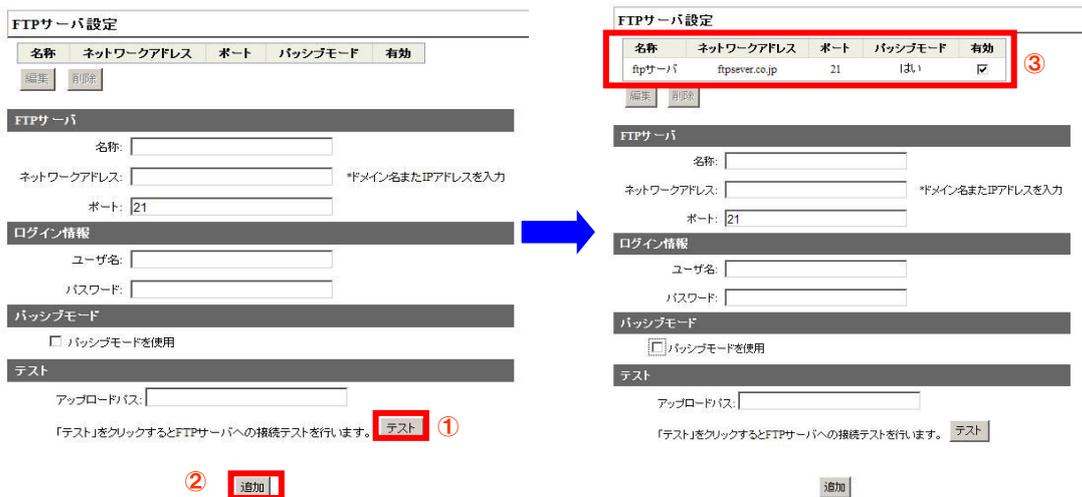
5-3 イベントサーバー

イベント発生時に使用するサーバ情報を登録します。

5-3-1 FTP サーバ

イベント発生時に画像を転送する FTP サーバの設定をします。

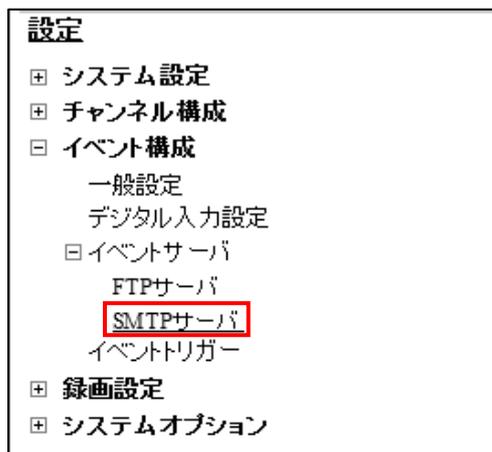
- ※ 通常は「パッシブモードを使用」にチェックを入れます。
- (1) FTP サーバの設定が完了後、「テスト」① ボタンをクリックして FTP 送信の確認をします。
- (2) エラーが発生した場合は、設定項目を確認し修正します。
- (3) テストが OK の場合は、「追加」② ボタンをクリックして完了します。
- (4) FTP サーバが登録されると③の欄に表示されます。
チェックボックスで有効/無効の設定が可能です。



5-3-2 SMTP サーバ

イベントが発生した時にメールを送信する際に使用する SMTP サーバの設定をします。

- (1) 設定画面右側のメニューから「イベント構成」－「イベントサーバ」－「SMTP サーバ」の順にクリックします。



- (2) SMTP サーバ 1 欄①、SMTP サーバ 2 欄②に設定する SMTP サーバの情報を入力します。
 ※SMTP サーバ 2 の設定は、SMTP サーバ 1 が使用できない場合のバックアップ用のメールサーバ設定となります。
 ※設定している SMTP サーバに SSL 接続する場合は、「SSL 接続を使用する」にチェックを入れます。(使用する SMTP サーバが SSL 接続に対応している必要があります。)
- (3) 「テストメールの送信先メールアドレス」欄③④にテストメールを送信するアドレスを入力し、「送信」⑤⑥ボタンをクリックしてテストメールの送信をします。
- (4) メールを受信が確認できなかった場合は、設定項目を確認し修正します。
- (5) テストが OK の場合は、「適用」⑦をクリックします。

※ SMTP サーバ設定内容

設定項目	記入内容	備考
ネットワークアドレス	ホスト名またはメールアドレス	
ポート	ポート番号	初期値：25
送信元名	任意で記入（文字数 10 文字以内）	未入力の場合、エラー表示されます
送信元メールアドレス	任意のメールアドレス	

SMTPサーバ設定

SMTPサーバ 1

①

ネットワークアドレス: *ドメイン名またはIPアドレスを入力

ポート:

送信元名:

送信元メールアドレス:

認証を有効にする:

ユーザ名:

パスワード:

SSL接続を使用する。

テスト

③ テストメールの送信先メールアドレス: ⑤

SMTPサーバ 2

②

ネットワークアドレス: *ドメイン名またはIPアドレスを入力

ポート:

送信元名:

送信元メールアドレス:

認証を有効にする:

ユーザ名:

パスワード:

SSL接続を使用する。

テスト

④ テストメールの送信先メールアドレス: ⑥

⑦

5-4 イベントトリガー

イベントの取り扱いを設定します。

5-4-1 カメラトリガー発生要因 (①)

(1) カメラ本体が受け取ったイベントの使用／不使用を設定します。

- ・ I/O 入力：カメラ本体の I/O ポートに入力された接点信号をトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。
- ・ モーション検知：カメラ本体のモーション検知機能で検知された動きをトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。
- ・ イベント設定：統合管理ソフトでインテリジェント機能を登録すると自動的にチェックが付き、統合管理ソフトでイベントが発生した際に NVR でもイベント録画を開始します。
 - ※ 「モーション検知」の設定を行う場合は、最初にカメラの設定画面でモーション検知機能を有効にしてください。
 - ※ カメラ側に複数の検知エリアを設定できる機種でも、NVR では最初に設定したエリアのみ有効となります。NVR でこの機能を設定する場合は、カメラ側に 1 箇所検知エリアを設定してください。
 - ※ NVR で「モーション検知」の設定を行うと、カメラ本体側の設定も変更される場合があります。カメラを本製品以外のソフトウェアで利用している場合は、注意をお願いします。
 - ※ 「I/O 入力」「モーション検知」両方を使用することもできます。
 - ※ 「イベント設定」は自動的にチェックがつくため手動ではチェックを入れないで下さい。

5-4-2 NVR トリガー発生要因 (②)

(1) NVR 本体の動作をトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。

- ※ カメラの死活監視を有効とする場合は「カメラ切断時」にチェックを入れてください。カメラの接続状態が途切れた時と再接続した時にイベントトリガーが発生します。

5-4-3 トリガーアクション (③)

(1) 上記の「カメラトリガー発生要因」または「NVR トリガー発生要因」によるトリガーが発生した際のアクションを設定します。

E メール：E メールにてメッセージと画像を送信する場合にチェックを入れます。

- ※ 「イベント構成」－「イベントサーバー」－「SMTP サーバ」にサーバ情報が登録されている必要があります。

FTP：FTPにてテキストファイルと画像を送信する場合にチェックを入れます。

- ※ 「イベント構成」－「イベントサーバー」－「FTP サーバ」にサーバ情報が

NVR

登録されている必要があります。

トリガーI/O 出力：NVR 本体のデジタル出力（DO）へ接点信号を出力する際にチェックを入れます。

※ 別途「イベント構成」－「I/O 設定」－「トリガー出力」欄での設定が必要です。

※ NVR304basic には本体 I/O が無いため設定できません

ブザー：NVR 本体のブザーを鳴らす際に使用します。

※NVR304basic にはブザー機能が無いため設定できません。

特定のプリセットポイントに移動：カメラがあらかじめ設定したプリセット位置に移動します。

※ プリセット位置の設定については p44「3-1-2 設定変更」を参照してください。

イベント 取り扱い設定								
カメラトリガー発生要因								
Reminder: NVRのモーション検知機能を有効にする前に、カメラの設定画面でモーション検知エリアを正しく設定してください。またNVRがサポートするモーション検知エリアは一つです。カメラに複数の検知エリアを設定した場合は最初に設定した領域だけが有効となります。								
	1	2	3	4	5	6	7	8
IO入力	<input type="checkbox"/>							
モーション検知	<input checked="" type="checkbox"/>							
イベント設定	<input type="checkbox"/>							
NVRトリガー発生要因								
<input type="checkbox"/> 上書き録画 <input type="checkbox"/> NVR起動								
<input type="checkbox"/> ハードディスクフル使用 <input type="checkbox"/> システム設定の変更								
<input type="checkbox"/> ディスクエラー <input type="checkbox"/> チャンネル設定の変更時								
<input type="checkbox"/> カメラ切断時								
トリガーアクション								
<input type="checkbox"/> メール: Eメール アドレス: <input type="text"/> *複数回の送信先は","コンマで区切ります								
<input checked="" type="checkbox"/> FTP: アップロードパス: <input type="text"/>								
<input type="checkbox"/> トリガー I/O 出力								
<input type="checkbox"/> ブザー								
<input type="checkbox"/> 特定のプリセットポイントに移動								
<input type="button" value="適用"/>								

全ての設定が終わったら「適用」をクリックします。

NVR

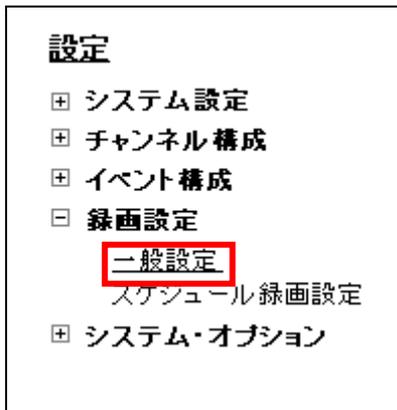
イベントトリガー発生要因とトリガーアクションの関係

発生機器	トリガー発生要因		トリガーアクション対象	アクション内容	
NVR I/O ポート	外部センサーから信号入力		SMTP サーバ	メッセージ、画像送信	
NVR 本体の動作・システム変更	上書き録画			FTP サーバ	メッセージ、画像送信
	ディスクフル使用				
	ディスクエラー				
	ディスク容量指定				
	NVR 起動				
カメラ I/O ポート	外部センサーから信号入力		NVR I/O 出力ポート	外部機器へ信号送信	
カメラ I/O ポート	外部センサーから信号入力		ブザー	NVR 本体のブザー鳴動	
カメラモーション検知	画像変化	特定プリセットポイントに移動	プリセット位置へのカメラ移動		
カメライベント設定	統合ソフトのイベント				
カメラと NVR の疎通確認	接続不可、再接続				

6. 録画設定

6-1 一般設定

「設定」－「録画設定」－「一般設定」をクリックします。



6-1-1 録画バッファ (①)

イベント発生前後の録画時間を設定します。イベント発生時を中心に前後数秒の時間を録画します。

プリアラームバッファ :

- ・ イベント発生時からさかのぼって録画する秒数を入力します。
 - ※ プリアラームバッファの秒数は 0~5 秒 (半角数字) を 1 秒単位で入力します。
- ・ ポストアラームバッファ : イベント発生時から後に録画する秒数を指定します。
 - ※ ポストアラームバッファの秒数は 5~30 秒 (半角数字) を 1 秒単位で入力します。

6-1-2 録画フレームレート (②)

各チャンネル (カメラ) に、各録画形式別に録画フレームレートを設定します。

- ※ 手動録画とイベント録画のフレームレートが異なり、手動録画中にイベント録画が重なっている間は、手動録画のフレームレートが優先されます。
フレームレートの優先順位は、手動録画>イベント録画>スケジュール録画>連続録画となります。

6-1-3 画像保存制限 (③)

録画データを保存する日数を指定します。(日数は 1~365 の間で設定してください) 指定した日数より前の録画データは 1 日 2 回 (午前・午後 2 時前後) に全て消去されます。尚、設定日数分の保存容量が収納しているハードディスクの容量を上回る場合は指定日時分の保存はできません。

チェックをはずすと、保存期間の制約がなくなります。(ハードディスクが一杯になるまで保存し、その後は上書き保存となります。)

6-1-4 カメラ録画設定 (④)

各チャンネルに録画形式を設定します。

連続 : 常時録画を行います。

スケジュール : 指定された時間帯に録画を行います。

- ※ 時間帯の設定は、P62 「6-2 スケジュール録画設定」を参照してください。

イベント : イベント発生前後の録画を行います。 イベントの設定は、P52 「5-2 イベント構成 I/O 設定」のトリガーイベント発生時の設定と、P57 「5-4 イベントトリガー」のカメラトリガー発生要因の設定によって自動的に選択されません。

6-1-5 録音 (⑤)

各チャンネルに録音の有無を設定します。

※ 音声非対応のカメラの場合でも録音のチェック可能ですが、チェックがついていても録音対応はできません。

録画一般設定

録画バッファ

プリアラーム/バッファ: 秒 (0-5)

ポストアラーム/バッファ: 秒 (5-30)

録画フレームレート

	1	2	3	4	5	6	7	8
連続	I Only ▾	Full ▾	15FPS ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾
スケジュール	I Only ▾	I Only ▾	5FPS ▾	I Only ▾	I Only ▾	I Only ▾	I Only ▾	I Only ▾
イベント	Full ▾	Full ▾	15FPS ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾
手動	Full ▾	Full ▾	15FPS ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾

	9	10	11	12	13	14	15	16
連続	Full ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾	5FPS ▾		5FPS ▾	
スケジュール	I Only ▾	I Only ▾	5FPS ▾	I Only ▾	5FPS ▾		5FPS ▾	
イベント	Full ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾	5FPS ▾		Full ▾	
手動	Full ▾	Full ▾	Full ▾	Full ▾	5FPS ▾		Full ▾	

画像保存制限

0 日前までの録画映像を保存

カメラ録音設定

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
連続	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
スケジュール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
イベント	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

録音

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
録音	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									

適用 キャンセル

全ての設定が終わったら「適用」をクリックします。

6-2 スケジュール録画設定

(1) 画面左メニューの「設定」－「録画設定」－「スケジュール録画設定」をクリックします。

設定

- ⊕ システム設定
- ⊕ チャンネル構成
- ⊕ イベント構成
- ⊖ 録画設定
 - 一般設定
 - スケジュール録画設定**
- ⊕ システム・オプション

NVR

- (2) 「チャンネル」① 欄より、スケジュールを設定したいカメラを選択します。
- (3) 「クイック設定」② 欄で曜日と録画時間を指定します。
※ 0時をまたいでの指定はできません
- (4) 「追加」③ をクリックすると「スケジュールテーブル」欄に設定した曜日・日時が黒く塗りつぶされて表示されます。(4) なお、スケジュールテーブルを直接クリックすることにより、指定／解除を行うことが可能です。
- (5) 「選択したチャンネルにスケジュールをコピー」欄⑤でチャンネル（カメラ）を選択してから「適用」⑦ ボタンをクリックすると1つのチャンネルにコピーできます。
- (6) 「すべてのチャンネルにスケジュールを適用」⑥ ボタンをクリックすると、全てのチャンネル（カメラ）に同じスケジュール設定がされます。
- (7) 最後に「適用」⑦ ボタンをクリックし、設定を適用します。

スケジュール録画設定

チャンネル: 1. BB-HCM381 ①

スケジュールテーブル

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

クリア

クイック設定

曜日:
日 月 火 水 木 金 土 すべて

録画時間:
終日
指定期間のみ 開始時刻: 10:00 終了時刻: 15:00 ③ 追加

選択したチャンネルにスケジュールをコピー: ⑤

⑥ ⑦ 適用 キャンセル

7 システムオプション

画面メニュー左の「設定」－「システムオプション」をクリックします。

7-1 機器情報

本製品の機器情報を表示します。

設定 <input type="checkbox"/> システム設定 <input type="checkbox"/> チャンネル構成 <input type="checkbox"/> イベント構成 <input type="checkbox"/> 録画設定 <input checked="" type="checkbox"/> システムオプション 機器情報 システムログ メンテナンス デジタル出力(DO)ステータス ディスクステータス USBバックアップ UPS設定	一般情報 NVR名: モデル名: NVR-516 Plus ファームウェアのバージョン: 1.0.3SK.30051131 システム時刻: Up 0 days 04:25:40, since Aug 06 2012 13:35:49
	ネットワーク情報 ネットワークタイプ: オートモード 機器のIPアドレス: 172.30.100.133 HTTPポート: 80 ストリーミングポート: 9877 MACアドレス: 00:22:4E:C0:05:26 UPnPポート開放: 無効

7-2 システムログ

システムログが表示されます。

※システムログはアラート、イベント、ユーザアクセス情報を提示します。

ID	時刻	タイプ	種類	CH	AP	IP	ユーザ
1	11月 02, 2013 17:39:46	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
2	11月 02, 2013 17:39:45	サービス	設定ファイルを再読み込み				
3	11月 02, 2013 17:37:57	サービス	100日前より古いシステムログを自動削除しました				
4	11月 02, 2013 17:36:09	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
5	11月 02, 2013 17:36:08	サービス	設定ファイルを再読み込み				
6	11月 02, 2013 16:54:46	ユーザ	ログアウト		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
7	11月 02, 2013 16:54:43	ユーザ	ログイン		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
8	11月 02, 2013 16:54:06	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
9	11月 02, 2013 16:54:04	サービス	設定ファイルを再読み込み				
10	11月 02, 2013 16:45:18	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
11	11月 02, 2013 16:45:16	サービス	設定ファイルを再読み込み				
12	11月 02, 2013 15:35:10	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
13	11月 02, 2013 15:35:06	サービス	設定ファイルを再読み込み				
14	11月 02, 2013 15:34:54	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
15	11月 02, 2013 15:34:51	サービス	設定ファイルを再読み込み				
16	11月 02, 2013 15:34:37	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
17	11月 02, 2013 15:34:32	サービス	設定ファイルを再読み込み				
18	11月 02, 2013 15:28:56	チャンネル	カメラ接続	2			
19	11月 02, 2013 15:28:48	サービス	設定ファイルを再読み込み				
20	11月 02, 2013 15:09:15	ユーザ	ログアウト		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
21	11月 02, 2013 15:09:12	ユーザ	ログイン		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
22	11月 02, 2013 15:08:48	チャンネル	カメラ接続	1			
23	11月 02, 2013 15:08:41	サービス	設定ファイルを再読み込み				
24	11月 02, 2013 14:51:15	ユーザ	ログアウト		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
25	11月 02, 2013 14:51:13	ユーザ	ログイン		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
26	11月 02, 2013 14:51:10	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
27	11月 02, 2013 14:39:48	サービス	設定ファイルを再読み込み				
28	11月 02, 2013 14:39:42	サービス	設定ファイルを再読み込み				
29	11月 02, 2013 14:39:35	サービス	設定ファイルを再読み込み				
30	11月 02, 2013 14:39:29	サービス	設定ファイルを再読み込み				

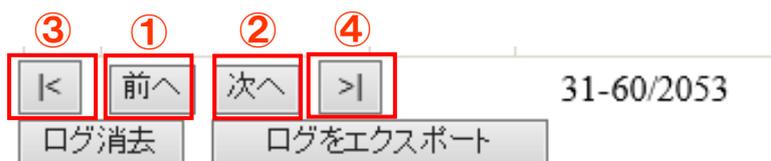
1-30/2010

ログを削除 ログをエクスポート

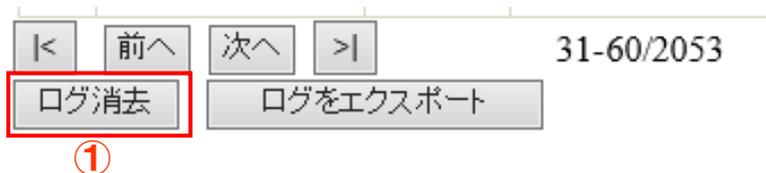
7-2-1 システムログ閲覧

(1) 「前へ」①をクリックすると前のページへ、「次へ」②をクリックすると次のページに移動します。

「|<」③をクリックすると最初のページへ、「>|」④をクリックすると最後のページへ移動します。



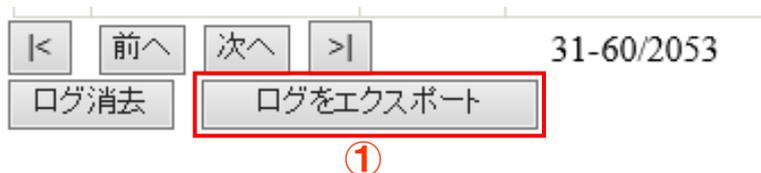
(2) 「ログ消去」①をクリックすると、保存されているログが消去されます。



7-2-2 システムログのエクスポート

本機器に保存されているログのエクスポート（ダウンロード）が行えます。

(1) 「ログをエクスポート」①をクリックします。



(2) ログの出力範囲②を選択します。

「特定の時間のログをエクスポートする」を選択した場合は、出力開始時間と終了時間③を入力します。

(3) 「開始」④をクリックします。

すべてのログをエクスポートする
 特定の時間のログをエクスポートする

開始時刻: 11月 04, 2013 00 : 09 : 52
 終了時刻: 11月 04, 2013 00 : 09 : 52

開始

7-3 メンテナンス

ここで本製品システムのメンテナンスを実行できます

7-3-1 NVR 再起動

(1) 本製品を再起動する場合は「再起動」① ボタンをクリックします。

7-3-2 NVR 自動再起動

(1) 本製品を自動的に再起動する場合は②の再起動にチェックを入れて、再起動する周期、曜日、時間を設定して適用②ボタンをクリックします。

7-3-3 カメラの再起動

(1) カメラを再起動する場合は、カメラを選択して「再起動」③ ボタンをクリックします。

7-3-4 NVR ファームウェアのアップグレード

配布されたファイルを使用し、ファームウェアをアップグレードします。

(1) 「ファームウェアファイルを指定」④ 欄の「検索」ボタンをクリックしてダイアログを開き、ファームウェアファイルを指定します。

(2) 「アップグレード」⑤ ボタンをクリックします。

※ アップグレード中は電源を絶対にオフにしないでください。途中で停止した場合、最悪システムが起動しなくなります。この場合は保証対象外となります。

※ アップグレードを行う前に NVR の設定ファイルのバックアップを取ることをお勧めします。

7-3-5 NVR の設定ファイルをバックアップ

(1) 「バックアップ」⑥ ボタンをクリックすると、本システムを現在の設定をバックアップファイルとしてローカル (クライアント PC) に保存します。

7-3-6 NVR の修復

保存済みのバックアップファイルを適用し、本システムの設定を復元します。

(1) 「設定ファイルの指定」⑦ 欄の「検索」ボタンをクリックしてダイアログを開き、あらか

NVR

じめ保存してあったバックアップファイルを指定します。

(2) 「修復」⑧ ボタンをクリックします。

※ 修復を行っている間は電源をオフにしないでください。

※ 修復を実施した場合、IP アドレスはオートモードに変わります。付属の「NVR 検索」で NVR を検出して下さい。DHCP サーバ（ルータ等）のないネットワークに接続されている場合は、192.168.101.50 に設定されます。

7-3-7 工場出荷時の状態にリセット

本システムを工場出荷時の設定値にリセットします。

(1) 「工場出荷時設定に戻す」⑨ ボタンをクリックします。

※ リセットを行っている間は電源をオフにしないでください。

7-3-8 NVR のウェブ UI のロゴを変更

(1) 「検索」⑩をクリックしてダイアログボックスを開き、ロゴの画像ファイルを指定します。

(2) 「アップロード画像」⑪ ボタンをクリックします。

※ロゴで使用可能な画像形式は「GIF」で画像サイズは160（幅）×65（高さ）ピクセル以内です。

メンテナンス

NVR再起動

再起動ボタンをクリック

再起動

①

NVR自動再起動

以下から1つ選択してください。

 再起動: 毎週 適用

②

カメラの再起動

カメラを選択して「再起動」をクリックしてください

チャンネル1: VS8102 再起動

③

NVRファームウェアのアップグレード

新しいファームウェアを指定し、アップグレードを実行します。(現在のファームウェアバージョン: 1.0.3SK.30051131)

ファームウェアファイルを指定: 検索 次にクリック アップグレード

④

⑤

注意: 注意:ファームウェアをアップグレードしている間は電源をオフにしないで下さい。アップグレードが完了すると通知されます。

NVRの設定ファイルをバックアップ

ローカルディスクに設定内容をバックアップします

バックアップ

⑥

NVRの修復

保存されているバックアップ用の設定ファイルを使用し、設定を修復してください。

設定ファイルの指定 検索 次にクリック 修復

⑦

⑧

注意: 復旧している間は電源をオフにしないで下さい。復旧が完了すると通知されます。

工場出荷時の状態にリセット

すべての設定内容を工場出荷時の設定値に戻します。

工場出荷時設定に戻す

⑨

DHCP サーバからIPアドレスを取得できない場合は、工場出荷時の固定IPアドレス(192.168.101.

注意: リセットしている間は電源をオフにしないで下さい。完了すると通知されます。

NVRのウェブUIのロゴを変更

新しいロゴのファイルを指定してロゴを変更

ロゴのファイルを指定してください: 検索 次にクリック 画像をアップロード

⑩

⑪

7-4 DOポート状態

本製品のデジタル出力ポートの平常時のステータスを設定します。

(1) 「設定」－「システムオプション」－「DOポート状態」をクリックします。



■通常の状態：

デジタル出力端子に、通常時セットしておく状態（接点信号待ちの状態）を選択します。

Open：常開端子（NO: Normally Open）に設定します。

Ground：常閉端子（NC: Normally Close）に設定します。

■現在の状態：

デジタル出力端子の現在の状態を表示／選択します。

ラジオボタンを選択することで、現在の状態を切り替えることができます。出力信号が保持されたままの状態になった時など、この操作で状態を戻します。

Open：接点出力を開状態（ブレイク状態）に設定します。

Ground：接点出力を閉状態（メイク状態（GND））に設定します。

7-5 ディスクステータス

「設定」－「システムオプション」－「ディスクステータス」をクリックします。

設定							
<input type="checkbox"/> システム設定 <input type="checkbox"/> チャンネル構成 <input type="checkbox"/> イベント構成 <input type="checkbox"/> 録画設定 <input checked="" type="checkbox"/> システムオプション 機器情報 システムログ メンテナンス デジタル出力(DO)ステータス ディスクステータス UPS設定							
ディスクステータス							
ディスクID	ステータス	容量	ディスクの空き容量	ディスクの空きパーセント	システム起動時刻	録画期間	推定残り録画時間
1	オンライン	891GB	21GB	2%	7月9日 2010 12:15:06	7月19日 2010 10:44:24 - 8月3日 2010 15:20:22	0日 9時

推定残り録画期間は以下の計算式で算出した保存目安日数を表示しています。

計算式：(録画時間 ÷ 実際使用したディスク容量 (GB)) × 残りディスク容量 (GB)

※HDD フォーマット後、1時間経過しないと推定残り録画期間は表示されません。

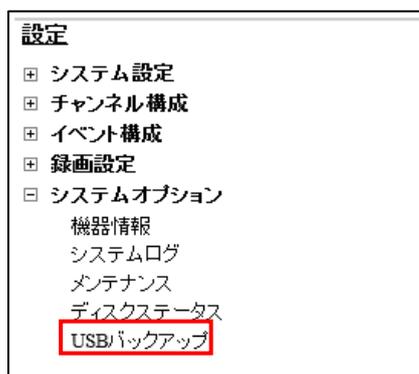
なお、録画設定の内容（イベント録画、連続録画、スケジュール録画）や被写体により、録画データ容量が一定増加とならないため、推定残り録画期間も変動します。

7-6 USB 接続バックアップ

本製品の USB ポートに USB 接続ストレージを接続し、保存されている録画映像をバックアップすることが出来ます。

※予め接続する USB 接続ストレージを FAT32 でフォーマットします。

(1) 設定画面右側のメニューから「システムオプション」－「ディスクステータス」の順にクリックします。



(2) USB 接続ストレージを NVR 前面または背面の USB ポートに接続します。

(3) NVR が USB 接続ストレージを認識すると USB HDD 欄①にストレージ情報が表示されます。

※同時にバックアップできる USB 接続ストレージは 1 つのみです。

(2) バックアップするデータ形式②を選択します。

(3) バックアップするチャンネル③にチェックを付けます。

(4) バックアップする開始時間と終了時間④を指定します。

(5) 「バックアップ」⑤をクリックします。

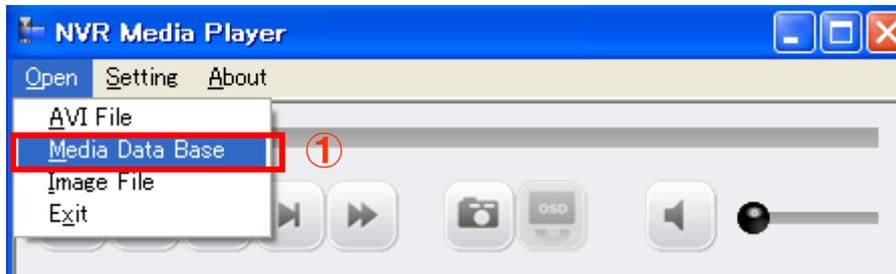
バックアップデータは、付属 CD の NVR Media Player で再生することが出来ます。

※NVR Media Player は最新版をご使用下さい。

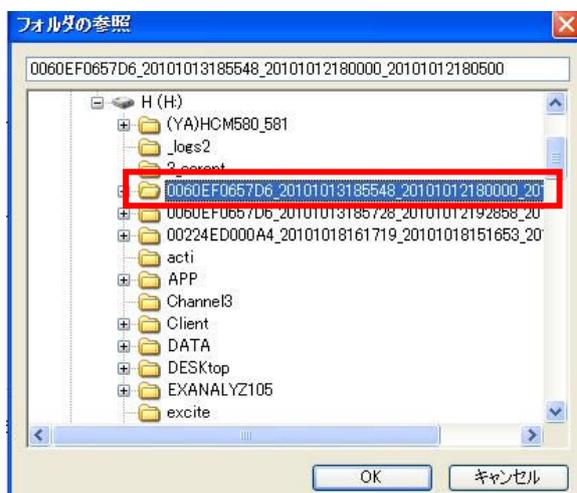
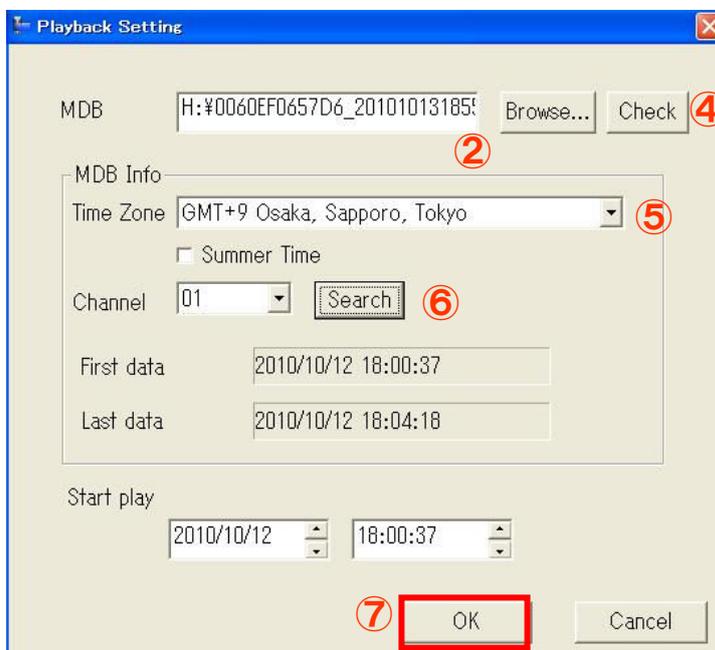
最新版の NVR Media Player は <http://nvr.bz/catalogdl.html> からダウンロード下さい。

USBバックアップ	
USB HDD: ①	<input type="text" value="..."/> ※バックアップを行う前に、WindowsPCでFAT32でHDDをフォーマットしてください
出力形式: ②	<input type="text" value="メディアデータベース"/>
チャンネル: ③	<input type="checkbox"/> VB-C500D1.1.0 <input type="checkbox"/> M5014 <input type="checkbox"/> チャンネル 3 <input type="checkbox"/> チャンネル 4
開始時刻: ④	<input type="text" value="11月 02, 2013"/> <input type="text" value="18:37:17"/>
終了時刻: ④	<input type="text" value="11月 02, 2013"/> <input type="text" value="18:37:17"/>
	<input type="button" value="バックアップ"/> ⑤

7-7 NVR Media Player の使用方法



- (1) メニューから①Open>Media Data Base をクリックします。
- (2) 下記画面が表示されるので②「Browse」ボタンをクリックして出力したデータフォルダを検索します。

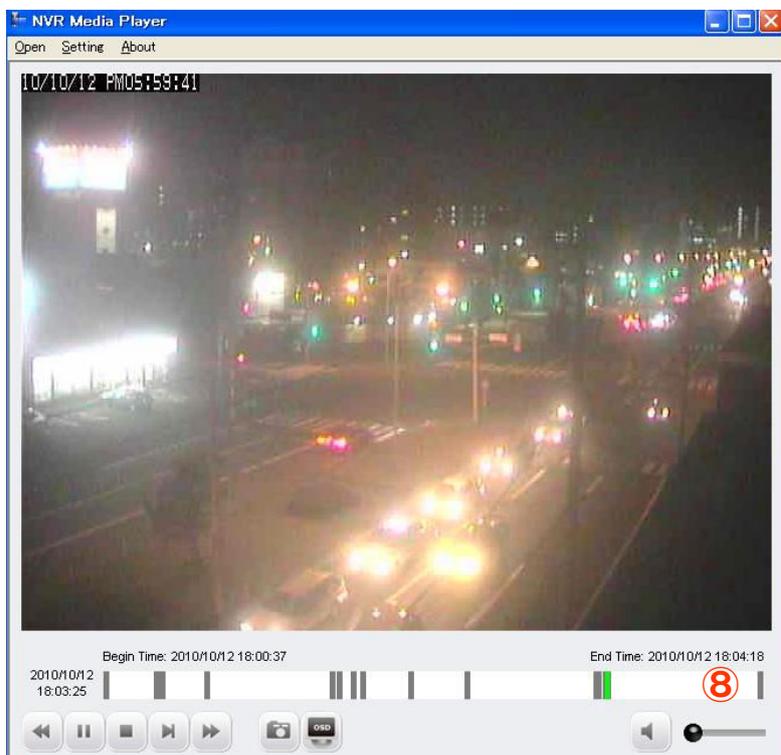


NVR

- (3) メディアデータ③が検索されたら OK ボタンをクリックします。
- (4) 次に④の「Check」ボタンをクリックしてデータを確認します。確認出来たら下記メッセージが表示されます。



- (5) ⑤から「Time Zone」を選択します。(※日本国内の場合は GMT+9 を選択します)
- (6) 次に⑥の「Search」ボタンをクリックするとデータの情報が表示されます。
- (7) 最後に⑦「OK」ボタンをクリックすると下記画面が表示され、再生が可能となります。
- (8) ⑧の欄のグレーで表示される箇所をクリックすると再生が始まります。



7-8 UPS 設定

本項目で対応している UPS は APC 製の Smart-UPS 750VA となります。

それ以外の機種は対象外となります。

(1) UPS の取扱手順に従って UPS をセットアップし、USB ケーブルで UPS と NVR を接続します。

※UPS に USB ケーブルは付属しておりませんので『A コネクタ オス—B コネクタ オス』タイプの USB ケーブルを用意して下さい。

(2) UPS を接続すると UPS を認識し下記画面のように UPS の情報が表示され、自働シャットダウンの設定が可能となります。

設定

- ☐ システム設定
- ☐ チャンネル構成
- ☐ イベント構成
- ☐ 録画設定
- ☐ システムオプション
 - 機器情報
 - システムログ
 - メンテナンス
 - デジタル出力(DO)ステータス
 - ディスクステータス
 - USBバックアップ
 - UPS設定**

UPS設定

対応しているUSB、UPSデバイスを接続すると、電源障害時にデータ損失を防ぐことができます。
電源障害時にNVRをシャットダウンさせる時間を設定することができます。

通知:
UPSデバイスのいずれかにNVRの電源コードが差し込まれていることを確認してください。
通常UPSには全てのUPS/バッテリー情報は記載されていません。この場合、予期しない電源障害に対応するために、できるだけ短くシャットダウン時間を設定してください。

UPSのサポートを有効にする

UPSは電源障害後にシャットダウン: 30分 ▼

UPSデバイス情報: UPSが接続されています

メーカー:	American Power Conversion
型番:	Smart-UPS 750
ステータス:	オンライン
電源:	100%
推定電源時間:	16200 秒

[適用]

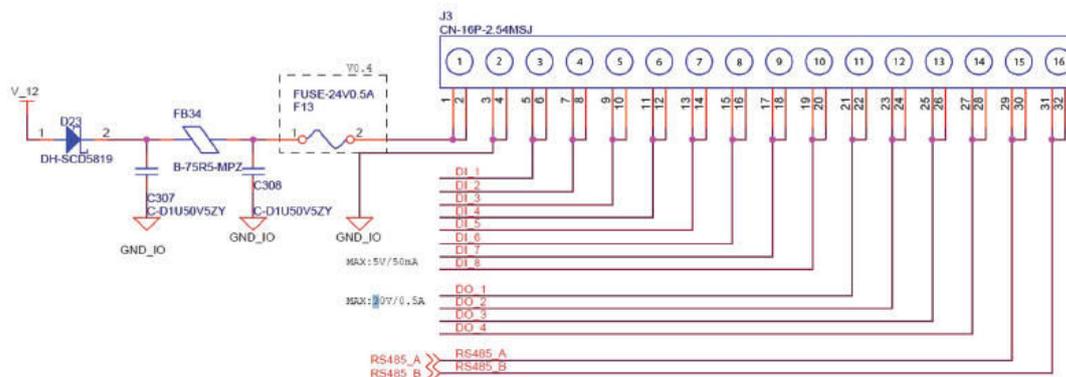
(2) 停電時に自働シャットダウンする時間を『すぐに～最大 30 分』の中から選択して、最後に適用を押します。

停電すると UPS から NVR に停電信号が通知され、選択した時間が経過すると自働シャットダウンを実行します。また、停電が復旧すると UPS から電源復旧の信号が NVR に通知され NVR は自働で再起動します。

NVR

付録

I/O ポートと RS485



Pin	Signal
1	12V DC
2	GND
3~10	Alarm input
11	Out1
12	Out2
13	Out3
14	Out4
15	RS485+
16	RS485-

製品仕様

本製品の仕様につきましては付属 CD 内のデータシートでご確認ください。

Axis241Q ビデオサーバのイベント録画手順

Axis ビデオサーバ 241Q の各カメラを NVR に登録する場合、ビデオサーバのモーショントリガー設定はデフォルトでビデオ 1 に設定されます。

ビデオサーバのビデオ 2 以降のカメラのモーショントリガーを設定する場合、下記手順で設定をしてください。(ビデオ 2 (CH2) に対応する場合を例として説明いたします。)

1. ビデオサーバのビデオ 2 を NVR に登録します。

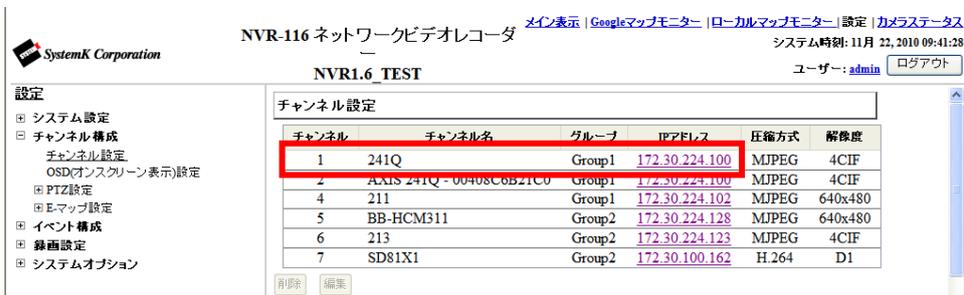


2. イベント構成→イベントトリガー→カメラトリガ発生要因のモーション検知チェックボックスにチェックをしてモーションイベントを有効にしてください。



NVR

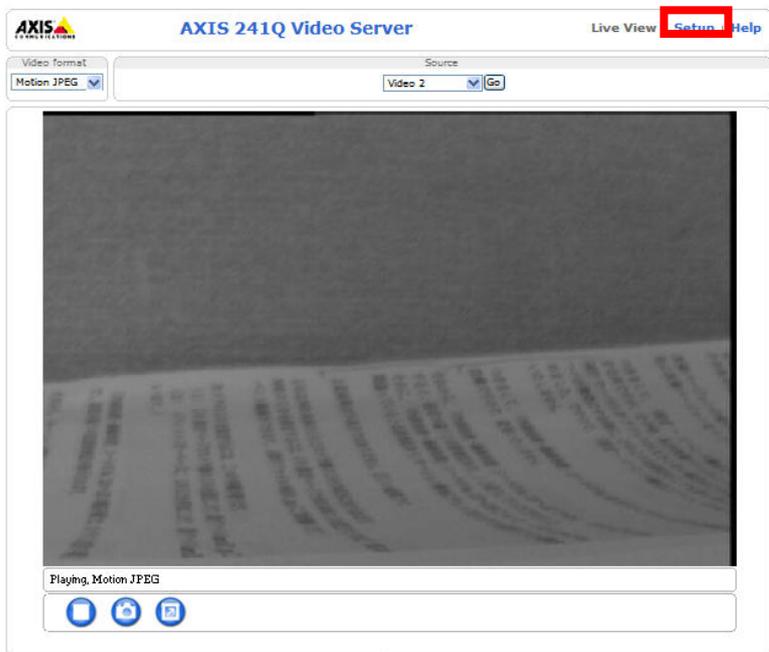
3.チャンネル構成→チャンネル設定→からビデオサーバのウェブページにアクセスします。



The screenshot shows the 'チャンネル設定' (Channel Settings) page of the NVR1.6 TEST interface. A table lists the configured channels with the following data:

チャンネル	チャンネル名	グループ	IPアドレス	圧縮方式	解像度
1	241Q	Group1	172.30.224.100	MJPEG	4CIF
2	AXIS 241Q-00408C6B21C0	Group1	172.30.224.100	MJPEG	4CIF
4	211	Group1	172.30.224.102	MJPEG	640x480
5	BB-HCM311	Group2	172.30.224.128	MJPEG	640x480
6	213	Group2	172.30.224.123	MJPEG	4CIF
7	SD81X1	Group2	172.30.100.162	H.264	D1

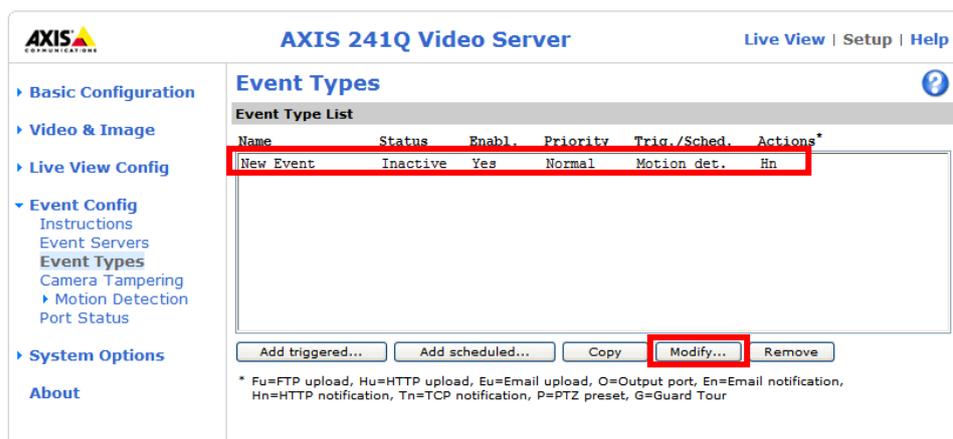
4.カメラサーバのウェブページ上にある「Setup」を選択します。



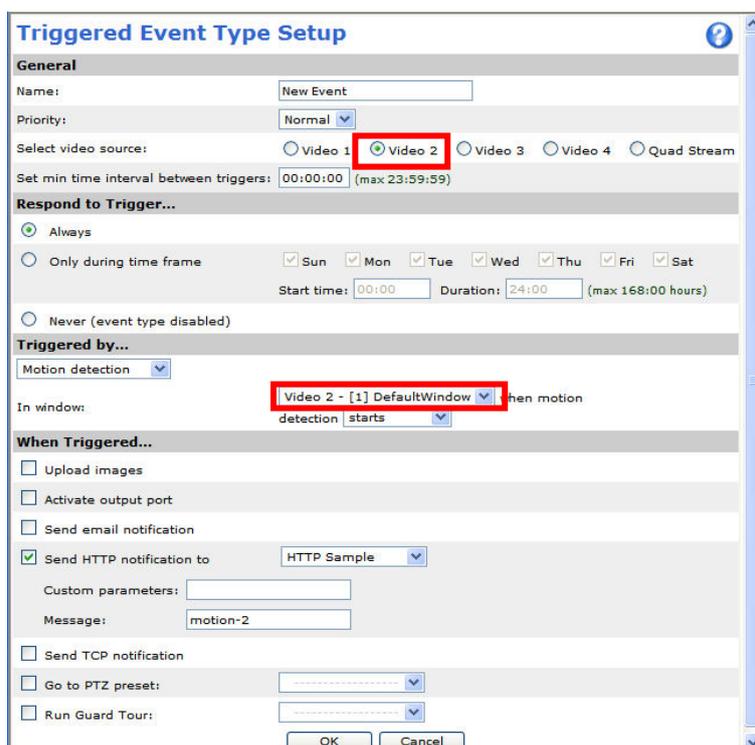
The screenshot shows the 'AXIS 241Q Video Server' web interface. The 'Setup' button is highlighted with a red box. The interface includes a 'Video format' dropdown set to 'Motion JPEG', a 'Source' dropdown set to 'Video 2', and a 'Go' button. A live video feed is displayed in the center, and the status 'Playing, Motion JPEG' is shown at the bottom.

5.Event Config→Event Types→Event Types List から該当するカメラ項目を選択し、「Modify」をクリックしてください。

NVR



6. 下記赤枠で囲まれた 2 つの設定項目 (Select video source, Triggered by...) の設定を Video1 から Video2 に変更して「OK」をクリックしてください。



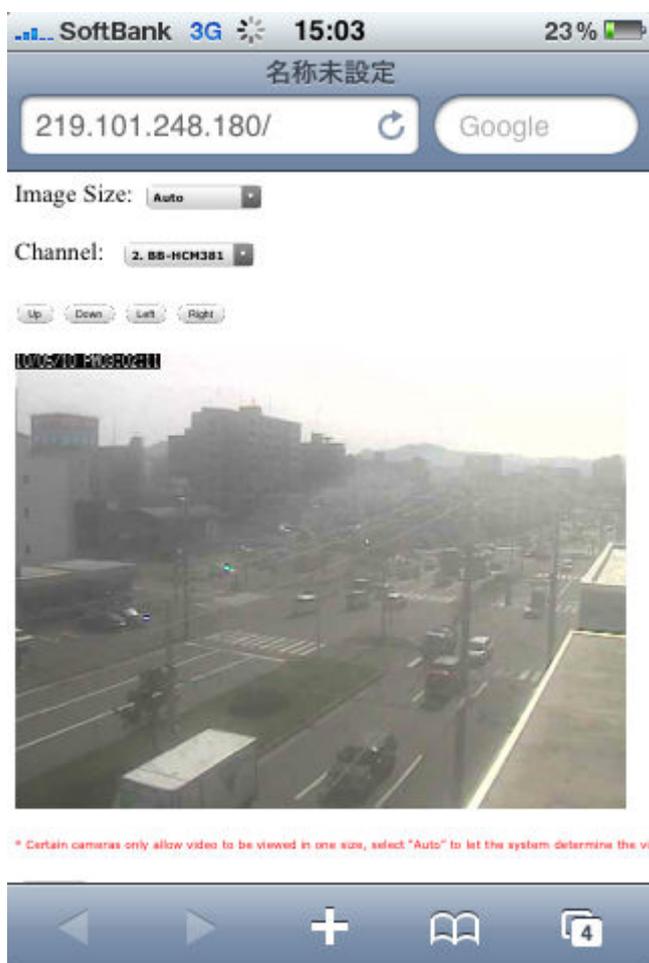
以上で、ビデオサーバのビデオ 2 のイベント通知設定は完了いたします。

以下、同じ手順でビデオ 3、ビデオ 4 を設定します。

スマートフォンによる閲覧

スマートフォンによる NVR へのアクセス方法並びに操作方法

1. お使いのスマートフォンのブラウザから NVR の固定 IP もしくはドメインを入力します。
2. ログイン画面から NVR のユーザ名とパスワードを入力しログインします。
3. 下記画面が表示されます。※下記は iPhone の画面です。



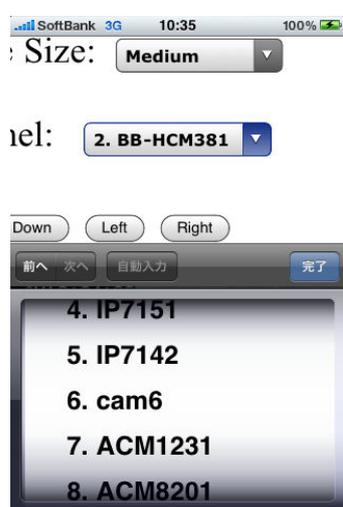
- ※ 注: スマートフォンで NVR へアクセスするためには NVR 設置拠点のインターネット回線を提供しているプロバイダーから固定 IP を取得するか、若しくはルーターメーカー(またはカメラメーカー)が提供する DDNS ドメインサービスのご利用が必要となります。
- ※ DDNS サービスの一例 : Panasonic のみえますねっと(有料)、YAMAHA のネットボランチ(無料)、COREGA のコレガネット(無料)

NVR

4. Image Size 選択メニュー①からスマートフォン上で表示する画像サイズを選択します。
5. Channel 選択メニュー②から閲覧したいカメラ名を選択します。
6. パンチルト操作は、画面上に表示されているボタン操作で行います。



※ 下記画面は、登録カメラリスト、画像更新感覚画面です。



スマートフォン閲覧の基本仕様

項目	内容
ライブ表示間隔	5秒に1枚、毎秒
表示カメラ台数	1台
対応スマートフォン	iPhone、Android、Windows Mobile

NVR

対応ブラウザ	Safari、IE Mobile
--------	------------------

NVRMobileViewer の使用方法

まず、iPhone で「NVRMobileViewer」と入力してアプリを検索、インストールします。
アイコンをタッチして NVRMobileViewer を開きます。



1.NVR 登録

サーバ (NVR) リストが表示されますので、画面右上アイコンをタッチして検索をタッチします。



NVR

NVR の IP アドレス及びログイン情報を入力して、画面右上アイコンをクリックします。

保存をタッチして、NVR 登録は完了です。

自動ログインをオンに設定すると、次回ログイン時からユーザ名、パスワードの入力をせずにログインが可能です。



NVR リストは、下記画像のように表示されます。

タッチするとログインできます。

表示された NVR をタッチしたまま右にスライドすると削除アイコンが表示されます。



2. ライブ画面機能、録画再生

登録した NVR にログインすると、登録されているカメラがリストに表示されます。

カメラアイコンをタッチすると、ライブ映像が表示されます。

ライブ画面右下のアイコンをタッチするとスナップショットが取得できます。



ライブ画面右上をタッチすると下記メニューが表示され、タッチすると各機能が実行できます。

- ・ 比率を固定→映像を引き伸ばして画面一杯に表示します。
- ・ 音声→ライブ音声再生されます。音声再生中はアイコンが表示されます。
- ・ 録画再生→録画データ検索画面に移動します。



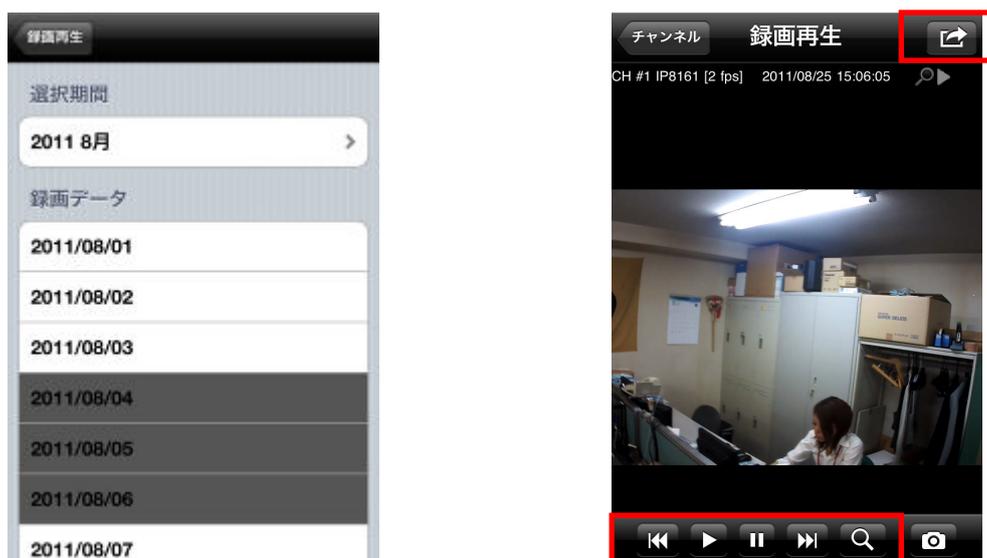
NVR

録画検索は選択期間から検索したい月を選択します。

録画データがある日は黒く表示されますので、見たい日をタッチします。

日→時間→分→秒とタッチしていくと録画データが再生されます。

ライブ画面下で録画映像の早送り、巻戻し、一時停止が録画映像の再検索が実行できます。



ライブ画面同様、録画機能も画面右上をタッチして表示されたメニューから各機能が実行できます。

- ・ 比率を固定→映像を引き伸ばして画面一杯に表示します。※前頁参考
- ・ 音声→録音音声再生されます。音声再生中はアイコンが表示されます。※前項参考
- ・ ライブ→現在録画再生しているカメラのライブ画面へ移動します。

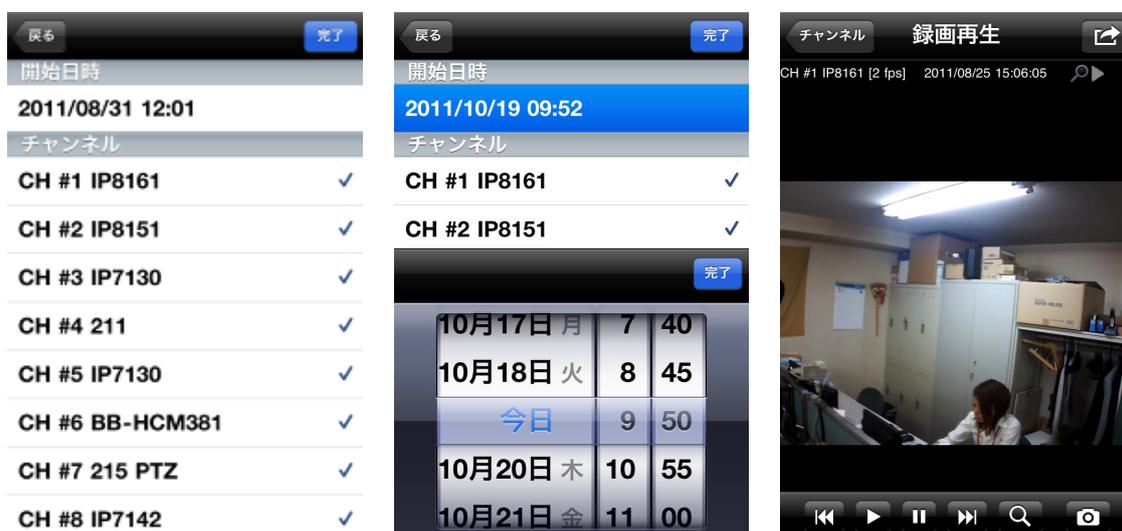


NVR

カメラリスト画面右上の「イベントアイコン」をタッチするとイベント検索ができます。
検索をタッチするとイベントリストが表示されます。
最新イベントをタッチすると、現在の時刻から近いイベント録画データが表示されます。



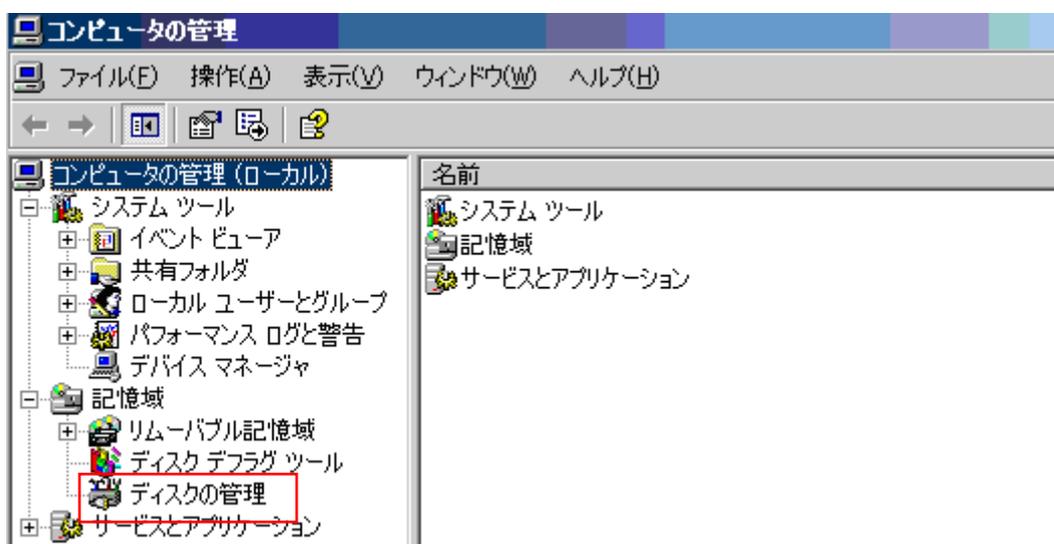
開始日時をタッチすると下記画像真中の画面が表示され、検索日時の変更ができます。
チャンネルをタッチするとイベント録画データがある場合、リストに表示されますのでタッチするとイベント録画映像が表示されます。



32GB 以上の USB 接続ストレージのフォーマット方法

Windows 7 の場合

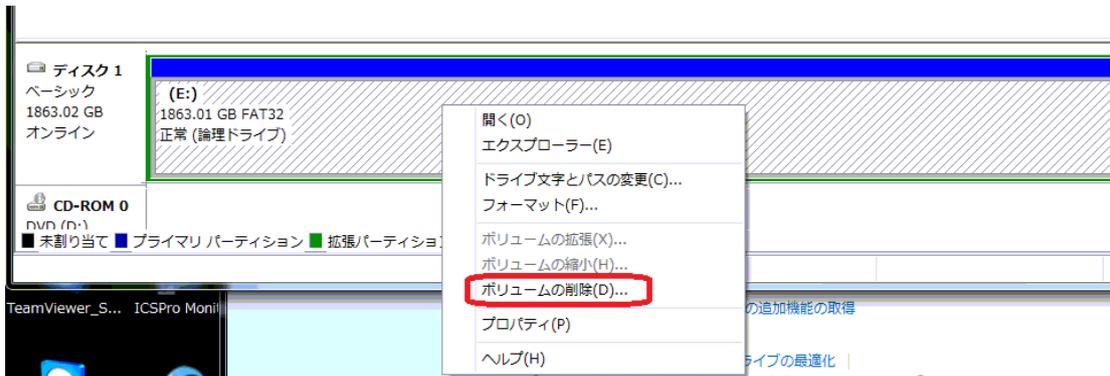
- (1) PC にお使いの USB ストレージを接続し、デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし「管理」メニューをさらにクリックすると下記画面が開きます。



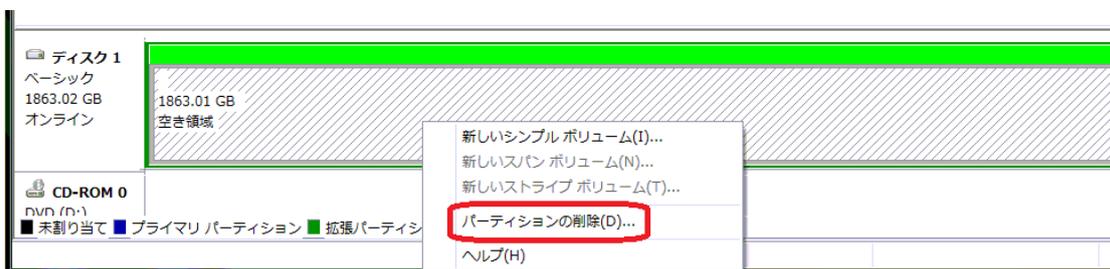
- (2) 次に上記画面の「ディスクの管理」をクリックして下記の画面を開いて接続した USB ストレージを選択してください。



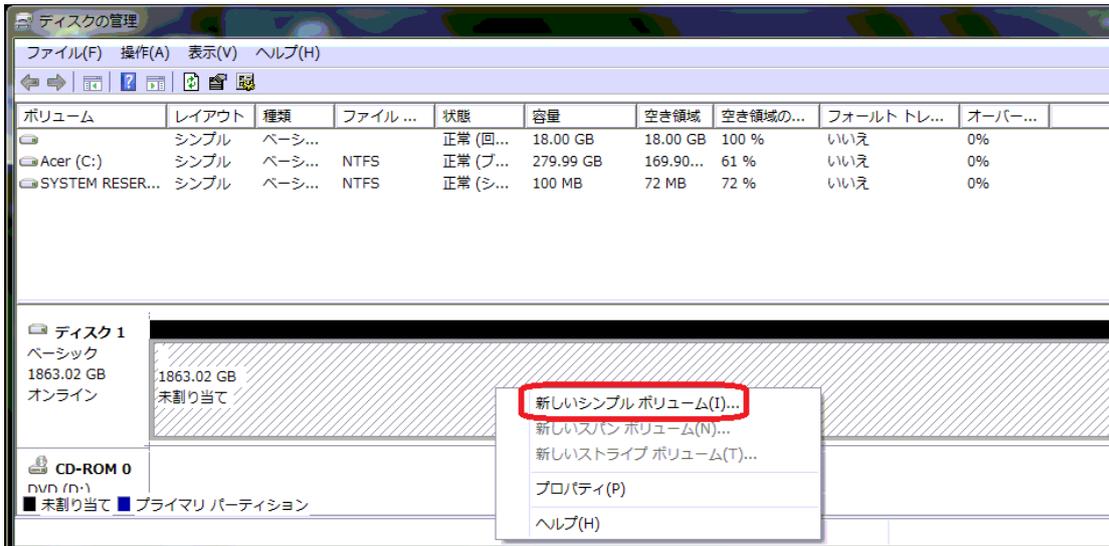
(3) 理論ドライブ（ブルー）を削除してください。



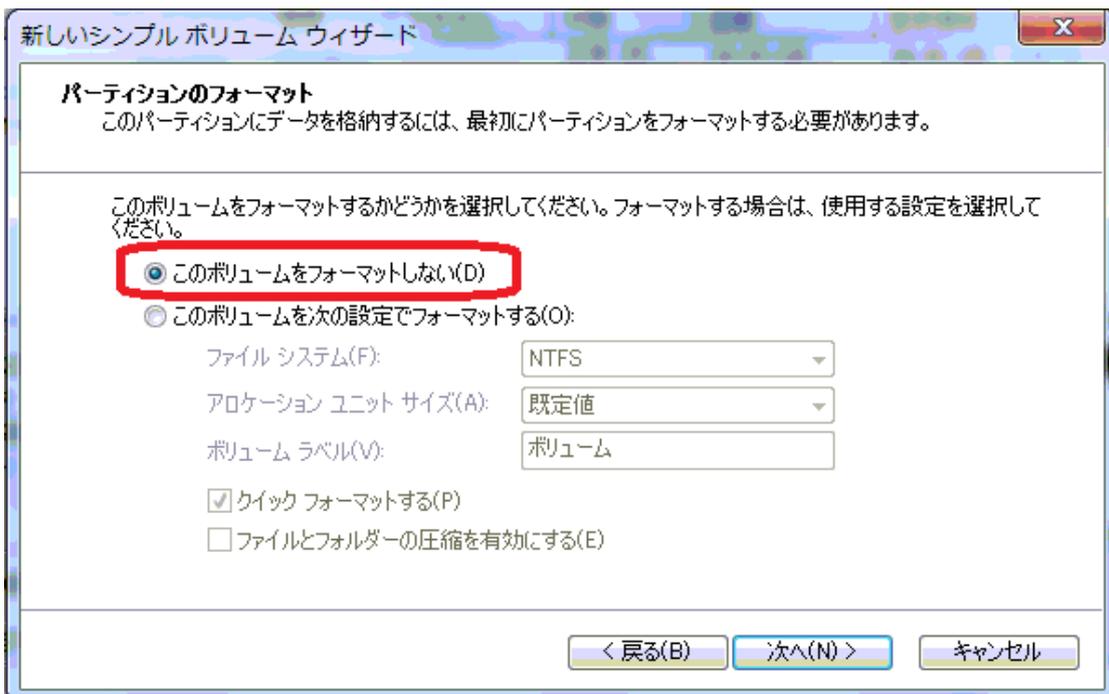
(4) 拡張パーティション（緑色）を削除してください。



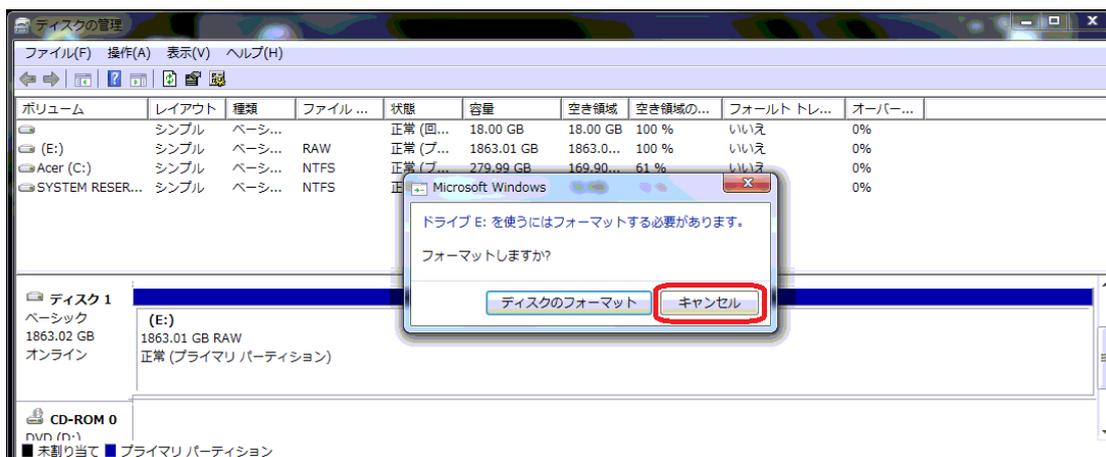
(5) この時の HDD はパーティション無し（黒色）状態です。ここから、単一の新しいパーティションを作成してください。



- (6) 「次へ」をクリックしていき、下記の画面で「このボリュームをフォーマットしない (D)」を選んでください。



- (7) 「フォーマットしますか?」と表示されますので「キャンセル」を選んでください。

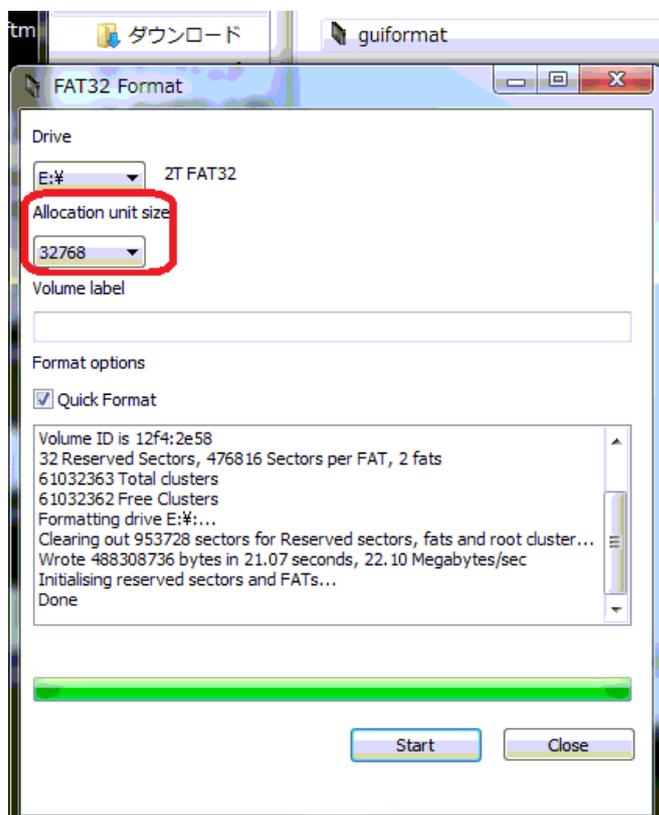


(8) guiformat (フォーマットソフト) で HDD を FAT32 にフォーマットしてください。

Allocation unit size 項目を手動で入力しないでください。Guiformat は自動的にベスト値を選びます。「Start」をクリックしてください。

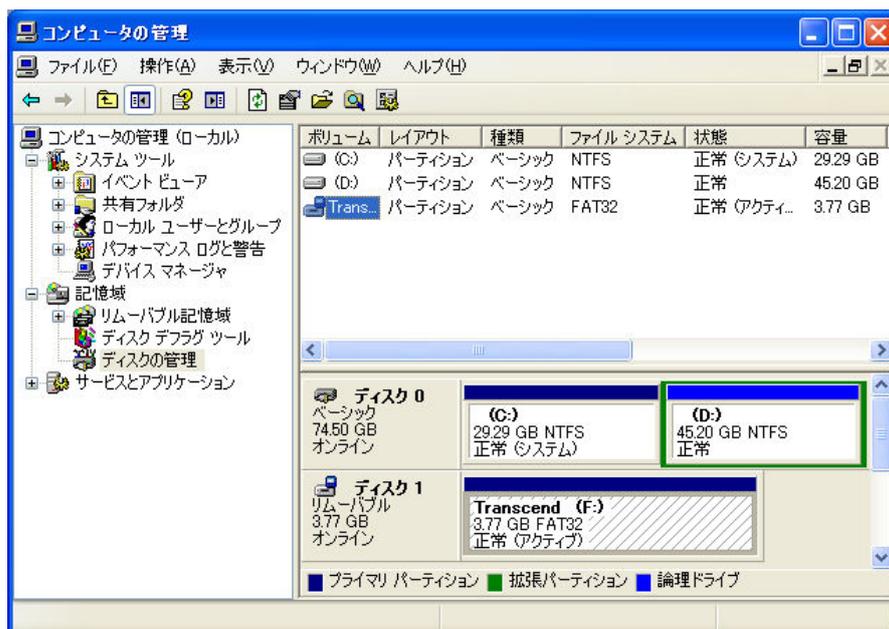
これでフォーマットは完了です。

※guiformat のインストールは本製品のサポート対象外です。



Windows XP の場合

- (1) PC にお使いの USB ストレージを接続し、デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし「管理」メニューをさらにクリックすると下記画面が開きます。
- (2) 次に上記画面の「ディスクの管理」をクリックして下記の画面を開いて接続した USB ストレージを選択してください。



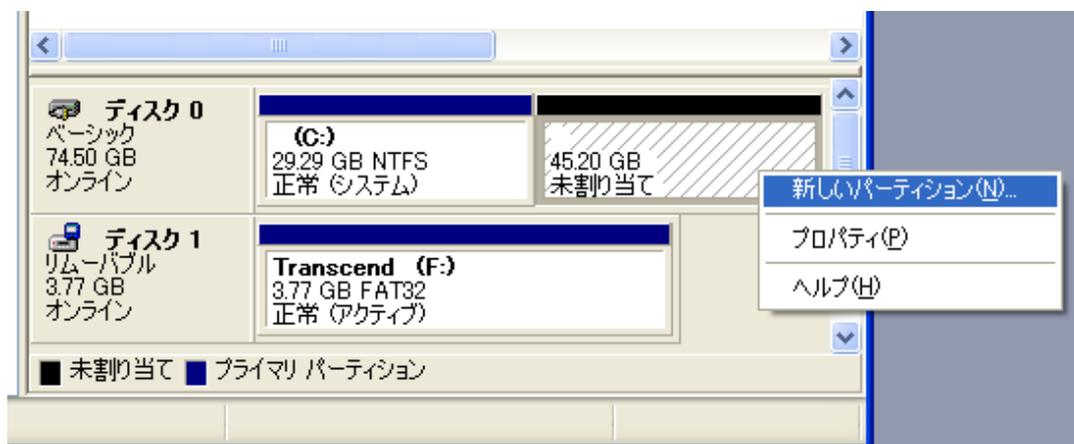
- (3) 「論理ドライブの削除」をクリックしてください。



(4) 「パーティションの削除」をクリックしてください。

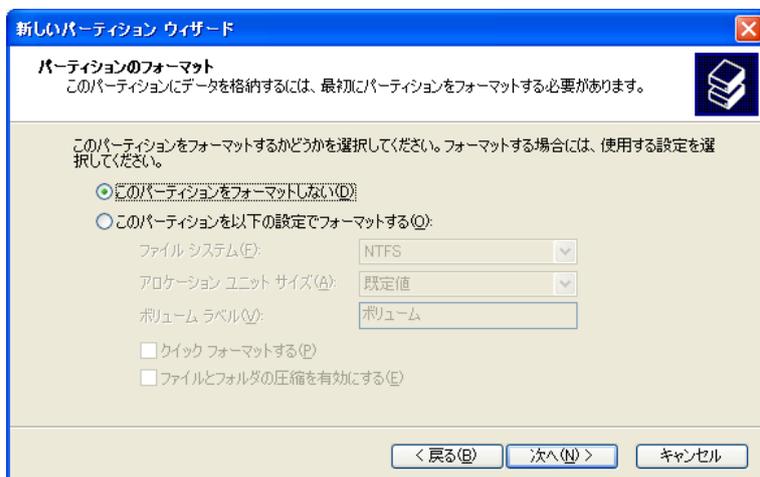


(5) この時の HDD はパーティション無し（黒色）状態です。ここから、「新しいパーティション」をクリックしてください。



NVR

- (6) 最初からチェックしてあるものはそのまま「次へ」をクリックしていき、下記の画面で「このパーティションをフォーマットしない (D)」を選んでください。
完了して、「コンピュータの管理」を閉じます



- (7) `guiformat` (フォーマットソフト) で先ほどの HDD を選択してフォーマットします。
Allocation unit size 項目を手動で入力しないでください。Guiformat は自動的にベスト値を選びます。「Start」をクリックしてください。
これでフォーマットは完了です。

※`guiformat` のインストールは本製品のサポート対象外です。

